

令和2年度 行政評価結果報告書

静岡県吉田町

本資料の見方

1 資料の概要

本資料は、PDCAサイクルの考え方を取り入れた吉田町まちづくりステップアップ行政評価システムのツールである、「吉田町まちづくりステップアップシート」の「C (Check)」シートにおける次年度の方向性を抜き出し、取りまとめたものです。

原則、ここで示された方向性に基づき、次年度以降の実施計画の作成及び次年度予算要求が行われます。

2 項目の説明

本資料における項目ごとの説明は以下のとおりです。

- ① 「No.」…通しの番号
- ② 「実施計画事業名」…評価の基本単位となる実施計画事業の名称
- ③ 「令和元年度の予算事業」…令和元年度に予算を伴って実施した「実施計画事業」に対応する「予算事業名」と「決算額」
- ④ 「令和2年度の実組状況」…令和2年度の実施計画事業に対する取組状況
- ⑤ 「令和3年度の方向性」
 - ・ 「現状のまま継続」…実施計画事業の目的や手法を変えずに継続する場合
 - ・ 「見直しの上で実施」…実施計画事業の目的や手法を見直して実施する場合
 - ・ 「休止」…実施計画事業の目的はそのまま、実施計画期間において実施を中断している場合
 - ・ 「廃止」…実施計画事業の全部を取りやめる場合
 - ・ 「終了」…あらかじめ予定された実施計画事業が終了した場合
- ⑥ 「担当課」…実施計画事業の担当課

参考資料

○前期基本計画における章・分野

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 2P

分野 地震・防災対策 治山治水対策 交通安全対策
くらし安全 消防・救急

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 8P

分野 健康づくり 地域医療 地域福祉 社会保障
子育て支援 高齢者福祉 障害者福祉

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり 19P

分野 農業 水産業 商工業 観光
新産業 企業誘致 雇用・就業対策

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 26P

分野 土地利用 住環境 公園・緑地・水辺 道路網
生活交通 コミュニティ 多文化共生 賑わいづくり

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 35P

分野 幼児教育 学校教育 地域教育 青少年健全育成
芸術文化・文化財 生涯学習 スポーツ・レクリエーション

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり 44P

分野 上水道 下水道・浄化槽・し尿処理 環境衛生
ごみ減量・リサイクル 地球温暖化防止対策

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 49P

分野 行財政 高度情報化 情報公開 広報・広聴
住民参画 男女共同参画 ユニバーサルデザイン

参考資料

○「令和3年度の方向性」の集計結果は次のとおりです。

現状のまま継続	見直しの上で実施	休止	廃止	終了	合計
141	73	12	1	2	229

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野1 地震・防災対策

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
1	災害救助事業	災害救助費	0	<ul style="list-style-type: none"> ・突発的災害に備え、引き続き予算の計上をする。 ・避難行動要支援者個別計画を含め、災害時避難行動要支援者対策の推進を図る。 ・感染予防に対応した福祉避難所マニュアルの見直しを行う。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、感染症予防を踏まえた体制整備の推進を図っていく。 	福祉課
2	災害復旧事業	農林水産施設災害復旧費	0	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、災害の未然防止及び災害発生時の対応を図るため、管理施設の点検等を実施する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時において、公共土木施設等が適正に操作できるよう、点検等を実施する。 	建設課
	公共土木施設災害復旧費	0					
3	地震・防災対策事業	地震対策費	30,001	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、地方創生臨時交付金を活用し、避難所用備品等の整備を行う。 ・原子力災害広域避難計画の広域避難先となる県内(静岡市・富士宮市)及び県外市(群馬県前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、太田市)と協議を重ねる。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する補助制度を最大限に活用し、地震・津波対策を推進する。 ・水防センターの整備計画を見直し、令和4年度完成を目標に事業進捗を図る。 	防災課
	国民保護対策費	0					
4	防災意識向上事業	防災意識向上事業費	12,038	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災力向上に向け、昨年度と同様に吉田町地域防災指導員養成講座と中学生を対象としたジュニア防災士養成講座を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 ・吉田町地域防災指導員養成講座を修了し、町の防災指導員認定を受けた者に対して、防災技能の向上を図るため、フォローアップ研修を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため内容を変更し行う予定である。 ・地域防災指導員と自主防災会が力を合わせ、地域防災力の向上のために防災訓練等に取り組む。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・防災公園(北オアシスパーク)を拠点とし来園者等を対象に既存防災設備の説明等を通じ防災意識の向上と知識の普及に努める。 ・引き続き、地域の防災リーダーとなる地域防災指導員と次世代を担う防災リーダーとなるジュニア防災士の育成に努める。 ・各講座については、新型コロナウイルス感染症防止対策を行った上で、開催を検討する。 	防災課
5	TOUKAI-0促進事業	TOUKAI-0促進事業費	6,826	<ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅の耐震補強計画策定及び耐震補強工事補助金(一体型補助金)制度を創設し、国の財源(社会資本整備総合交付金)を活用するとともに、補助金額の増額につなげた。 ・ブロック塀撤去費補助金について、町内の通学路及び避難路を町耐震改修促進計画に位置付けることにより、国の財源(社会資本整備総合交付金)を活用するとともに、補助金額の増額につなげた。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に創設した木造住宅の耐震補強計画策定及び耐震補強工事補助金(一体型補助金)制度について、対象者への制度周知を図り、住宅の耐震化を加速させる。 ・ブロック塀撤去事業については、引き続き、戸別訪問や広報よしだ等で制度周知を図り、撤去を推進する。 	都市環境課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
6	津波・高潮危機管理対策事業	津波・高潮危機管理対策事業費	—	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年10月に着手した海岸防潮堤(川尻工区)の嵩上げ工事をはじめ、平成28年度及び平成29年度の2か年の盛土工事により防潮堤機能としては海岸防潮堤(川尻工区)との取合部を残して概ね整備が完了した多目的広場などの地形条件等の整理を行う。 過年度に実施した業務委託の成果等を参考にし、整備方針案をいくつか立案し、整備の実現に向けた関係機関との協議等を踏まえ、費用対効果など総合的な比較検討を進めていく。 施設整備に係る補助金等の活用についても、引き続き県等と協議しながら調査していく。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に実施する業務委託の成果を基に、各整備方針案における津波シミュレーションを実施し、津波対策の方針性を確認する。 	産業課
7	防潮堤整備事業	防潮堤整備事業費	65,300	<ul style="list-style-type: none"> 他事業の建設発生土を活用しながら盛土を進めるとともに、法面の植生(張芝)や階段を年度末までに整備し、海岸保全施設として海岸管理者に引き継ぎを行う。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 天端道や側道について、占用申請を行う。 天端道や側道の整備を行い、川尻工区については、令和3年度末の事業完了を目指す。 	建設課
8	情報伝達充実・強化事業	情報伝達充実・強化事業費	62,382	<ul style="list-style-type: none"> 「よしだ防災メール」は、広報よしだへの登録案内掲載と、総合防災訓練を兼ねて全戸配布を行った「わが家の防災対策チェック表」でもチェック項目と登録方法を掲載し、登録の促進を図った。 町民により正確な情報を伝達するため、新たにヤフー(株)と協定を締結し、Yahoo! 防災速報による防災情報の配信を開始した。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線(移動系)のデジタル化整備について、整備後の状況を把握し、計画的に改善を図る。 災害時の円滑な対応を図るため、情報伝達機器の操作について職員に周知する。 災害時に、町民により正確な情報を伝達するための方法を引き続き検討する。 	防災課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野2 治山治水対策

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
9	治水対策推進事業	治水対策推進事業費	780	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年8月21日に「坂口谷川水門建設促進期成同盟会」により県への要望活動を実施した。 今年度中に住吉地区浸水対策計画を策定する予定である。県においても「坂口谷川流域総合的治水対策推進協議会」によるアクションプラン及び「湯日川水系流域委員会」による湯日川水系河川整備計画が策定される予定である。 川尻地内の道路冠水頻発箇所の対策を施す予定である。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 坂口谷川の水門建設及び河川整備計画に基づく整備が早期に進められるよう、「坂口谷川水門建設促進期成同盟会」による要望活動を継続する。 住吉地区浸水対策計画に基づくハード整備に着手する。 	建設課
10	水防事業	水防費	1,585	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、水防資材の点検を実施し、不足している資材については水防資材リストに基づいて補充を行い、水害等に備える。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、水害等の災害に備えるため、水防資材の補充及び点検を実施する。 	建設課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
11	都市下水道事業	都市下水道費	100	<ul style="list-style-type: none"> これまでの当該事業の重機借上料による限定的な手法から、治水対策推進事業の工事請負費での手法に転換することで、より効果的な浚渫を実施する予定である。 	休止	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な浚渫は治水対策推進事業において実施しており、かつ現時点において都市下水道の改修計画は無いことから当該事業は休止とする。 	建設課
12	大幡川等改修事業	大幡川改修事業費	49,013	<ul style="list-style-type: none"> 大幡川において、流下断面を確保するため、不明橋の撤去を実施する予定である。 大窪川において、護岸改修を実施する予定である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 大窪川において、上流側へ護岸改修を進める。 	建設課
		大幡川改修事業費(繰越明許)	6,368				
13	河川改修事業	河川改修事業費	—	<ul style="list-style-type: none"> 実施予定無し。 	休止	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施時期を検討する必要があるため、令和3年度は休止とする。 	建設課
14	水門・排水機場維持管理事業	水門・排水機場管理費	14,311	<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設の適正な管理が行えるよう、施設の操作等を熟知している自治会等へ水門等の管理を依頼している。 点検等において確認できた農業用施設の不具合箇所の修繕を実施している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、農地の効率的な利用が図れるよう、農業用施設の維持管理に努める。 	建設課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

分野3 交通安全対策

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
15	交通安全推進事業	交通安全推進費	6,113	<ul style="list-style-type: none"> 町内の交通事故多発箇所をまとめ、効果的な交通安全施設(カーブミラー、注意喚起看板等)の設置を行う。 町内交通事故発生マップを作成し、窓口に掲示したり、交通安全対策委員会等において、自治会長をはじめ推進団体に提供し交通安全意識の高揚に努める。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者事故をはじめ、町内で発生している交通事故の事故類型、事故原因及び事故発生箇所を踏まえ、交通安全設備の設置、交通安全広報・教室等を実施し、交通事故の減少を図る。 交通安全広報の充実強化を図る。 町内の交通事故発生マップを引続き作成し、町民に周知して交通安全意識高揚を図る。 	防災課
		交通指導員活動費	5,441				
16	交通安全対策事業	交通安全施設整備費	4,984	<ul style="list-style-type: none"> 区画線の復旧及び転落防止柵の設置を実施する予定である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 道路パトロールや地元からの要望に基づき、交通安全施設の更新等を実施し、安全で安心な交通環境を維持する。 	建設課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野4 暮らし安全

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実施状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)		令和3年度の方針		
17	防犯対策推進事業	防犯対策推進費	10,049	<ul style="list-style-type: none"> ・町内での犯罪発生マップを作成し、防犯まちづくり推進協議会に犯罪発生箇所を分かりやすく地図上で提示し、犯罪発生対策の一つとして活用できるよう改善した。 ・犯罪や不審者事案に対する抑止力を高めるため、静岡県警の可搬式街頭防犯カメラ設置事業を活用し、町内の防犯体制の向上を図った。 ・「セーフティよしだ(コミュニティ資料)」に毎月の町内及び近隣市町の犯罪情報を記載し、町民の防犯意識の高揚を図る。 ・公園等の町営施設への防犯カメラの必要性を防犯まちづくり推進協議会等において検討を行っている。 ・防犯体制強化の一環として、青色防犯パトロールの必要性、重要性を防犯推進団体に理解していただき、青色防犯パトロール実施団体を増やす。 ・青色防犯パトロール等、警察署及び関係団体と協働し、防犯環境の整備を図る。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「防犯教室」や「セーフティよしだ」等の事業を中心に実施し、犯罪件数の一層の減少を図る。 ・地域の実情を把握している各自治会に引き続き防犯灯の整備業務を委託することにより、地域の防犯意識の向上を図るとともに、円滑かつ、効果的に維持管理できる体制づくりをする。 ・警察署、榛南防犯協会及び防犯推進団体と連携を図り、効果的に防犯対策事業を進める。 	防災課
18	消費生活啓発事業	消費生活費	921	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談員を採用し、広報を行ったことで町民に消費者相談業務の周知ができ、消費者相談の解決につながっている。 ・広報、回覧文書及びホームページ等を活用し、啓発を図っている。 ・地域包括支援センターを通してケアマネージャーやヘルパー、町内老人福祉施設等へ悪質商法の手口等を情報提供している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・専門相談員設置の周知を継続し、町民からの複雑多様化する相談ニーズに対応する。 ・民生委員、社会福祉協議会及び各学校と連携した高齢者、障がい者、未成年者の見守りを実施する。 ・公共施設や町内イベント、団体の会合等で啓発する。 	産業課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野5 消防・救急

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実施状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)		令和3年度の方針		
19	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(消防費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(消防費)	8,535	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度の起債残高の償還を計画どおり適切に実行していくため引き続き負担金を支出する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度の起債残高の償還を計画的に実行する。 	防災課
20	消防救急広域事業費	消防救急広域事業費	265,432	<ul style="list-style-type: none"> ・広域化による実績(効果)を積み重ねる事により更なる広域化による効果を高める。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・広域化によるスケールメリットを持続的に最大限に生かし、「常に変化に対応し、住民の期待に応える消防」を目指す。 	防災課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
21	消防団運営事業	消防団運営費	20,139	<ul style="list-style-type: none"> ・団員の確保対策として、消防団員の必要性及び事業税の優遇措置の周知を団員所属の事業所に周知し、深く理解していただくことにより、退団者の減少を図るとともに、商工会を通して、広く事業所に周知し、新たな団員確保に繋げる。 ・女性の視点を活かした活動を展開し、女性消防団員が活躍できる場を紹介する。 ・消防救急広域化により常備消防との連携を強化し、地域全体における消防力の向上を図る。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団、まとい会、町内会及び行政が協力し新入団員確保に当たるとともに、消防団協力事業所表示制度を推進し、消防団員がより活動しやすい環境を整え、退団者を減少させることにより、消防団員の増員を図る。 ・引続き、消防団の充実・強化を図ることにより、地域に密着した要員動員力と即時対応力の向上を図る。 ・各種災害に対応できるよう訓練及び講習会を通じ、消防団員の技術及び知識の高揚を図る。 ・女性消防団員の視点を活かしたきめ細やかな運営を支援し、女性消防団員の活躍の場を広げるとともに、女性消防団員の新規入団者を確保する。 	防災課
22	消防団員福利厚生事業	消防団員福利厚生費	9,459	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度と同様、退職報償金の支給、消防団員の福祉共済への加入、活動中の怪我に対する公務災害補償により消防団員の福利厚生の充実を図る。 ・公務災害の防止と消防団福祉情報を役員会において、情報提供し福利厚生の充実を図る。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き、退職報償金の支給、公務災害補償、消防団員の福祉共済への加入を継続することで、団員の福利厚生の充実を図る。 	防災課
23	消防施設整備事業	消防施設整備事業費	16,548	<ul style="list-style-type: none"> ・地震・津波対策等減災交付金、地方債を活用し、消防車両(消防ポンプ自動車1台)を更新する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応能力の向上を図るため、計画的に消防車両(小型動力ポンプ付積載車)の更新を図るとともに、消防水利の適切な維持管理を継続して実施する。 	防災課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 1 健 康 づ くり

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
24	保健衛生管理事業	保健衛生管理費	7,983	・昨年度からの新型コロナウイルスの影響で例年とは異なる状況下となり、保健センターにはなかった網戸を設置するなど、換気が十分取れるような感染拡大防止対策を図った。	見直しの上で実施	・新型コロナウイルスの感染拡大により、来年度の状況が不明瞭の中、施設の適切な管理を行い、保健センター機能の維持及び改善を図っていく。	健康づくり課
25	健康づくり事業	健康づくり事業費	2,419	・健康体力づくり事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて、6月から実施している。 ・健やかプラン吉田21(健康増進計画、食育推進計画)の策定のため、関係機関への調査及び策定委員会を開催している。	見直しの上で実施	・令和2年度に策定の「健やかプラン吉田21(健康増進計画、食育推進計画)」に掲げた方向性(目指す姿)や数値目標を達成するよう事業を実施していく。	健康づくり課
		ダンス健康づくり事業費	3,176				
		健康体操運営費	2,927				
26	健康増進事業	健康増進事業費	28,000	・がん検診推進事業(がん検診自己負担金が無料となるクーポン券を交付)の対象者を国の補助金の対象年齢である乳がん40歳、子宮頸がん20歳に実施している。 ・肝炎ウイルス検診の受診率向上のため、引き続き40歳から75歳までの5歳刻みの年齢に達する者で過去に検診を受けたことがない人に対して、自己負担を無料化している。 ・生活習慣病予防事業では、特定健診の結果、受診勧奨・保健指導判定値者に対し、受診勧奨、保健指導、精検受診の状況を確実に把握し、精検未受診者の受診勧奨を実施している。今年度は実施方法を見直し、より重症化予防を強化し、実施している。	見直しの上で実施	・がん検診によってがん死亡を減らすためには、死亡率減少効果が科学的に証明されている検診を、適切な精度管理の下で実施することが重要なことから、「自治体担当者のためのがん検診精度管理マニュアル」に沿って実施する。 ・各種検(健)診の受診動向を分析し、検診や精密検査受診率向上を図るとともに、個別受診勧奨の対象者や内容について見直しが必要である。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、実施していく。	健康づくり課
27	感染症予防事業	感染症予防費	88,024	・2年目の風しん抗体検査クーポン券送付対象者へクーポン券を送付し、風しん抗体検査及び予防接種を実施する。 ・BCG予防接種を個別接種で実施する。 ・ロタウイルスワクチンを定期接種として開始する。 ・接種間隔の制度変更に関する情報提供を実施する。	見直しの上で実施	・追加的風しん対策については、令和3年度で終了予定となっているが、今後の動向について、迅速に対応できるよう国や県の情報収集に努めていく。 ・対象者が混乱することなく、確実に接種できるよう予防接種に関する情報を的確に捉えて遂行する。 ・乳幼児健診、相談、家庭訪問、個別の相談など機会を捉え、未接種者や対象者に対し接種勧奨を実施し、接種率向上を図る。	健康づくり課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
28	母子保健事業	母子保健衛生費	55,250	・産後ケア事業(宿泊型)を拡充する。	現状のまま継続	・妊娠期からの切れ目ない支援体制の強化を図り、個々のニーズに沿った支援をタイムリーに実施できるよう関係機関と連携を図り、サービス内容の検討、充実を図る。	健康づくり課
		妊娠・出産包括支援事業費	1,662				
29	食育推進事業	食育推進事業費	285	・健康づくり食生活推進員がより効果的で自主的な活動ができるよう、活動目的に合わせた献立や媒体などの情報提供を積極的に行う。 ・幅広い世代の町民に対して食に関する情報提供ができるよう、町民の集まる場面などを活用して情報を発信していく。 ・健やかプラン吉田21(健康増進計画、食育推進計画)の策定のため、関係機関への調査及び策定委員会を開催している。	見直しの上で実施	・町の栄養課題の解決のため、新たな食育推進計画に基づいた食育事業を推進する。	健康づくり課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野2 地域医療

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
30	地域医療体制整備事業	地域医療対策事業費	66	・「地域医療を支えるはいなんの会」の活動を支援する。 ・町内開業医の現状を引き続き把握し、対策を検討する。	現状のまま継続	・地域医療体制の課題と対策について、関係機関と協議を継続する。 ・行政、関係機関、住民が連携を図った上で、それぞれの役割分担を検討する。	健康づくり課
31	榛原総合病院組合事業(負担金)	榛原病院負担金	393,943	・平成30年度に行った令和元年度から3か年度の牧之原市と吉田町の榛原総合病院の運営に係る経費の負担割合の見直しにより、一部変更された榛原総合病院組合規約を基に負担金を支払う。	現状のまま継続	・負担金の継続により、通常医療のみでなく、地域の中核となる公設の病院として、夜間救急や災害時の救護病院として、あるいは、在宅医療を支援する病院として機能させる必要があるため、現状の維持が必要である。 ・令和4年度から3か年度の牧之原市と吉田町の榛原総合病院の運営に係る経費の負担割合の見直しを行う。	健康づくり課
32	救急医療体制整備事業	救急医療対策事業費	7,038	・救急医療体制の周知や医療機関へのかかり方について啓発していく。	現状のまま継続	・志太榛原地域の救急医療体制を維持するとともに、関係市町で課題等について、協議を続け、より良い体制の整備に努める。	健康づくり課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方角性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
33	災害時医療救護対策事業	災害時医療救護対策事業費	131	・災害時薬事コーディネーターと連携を図りながら災害時の医薬品供給について体制を検討し、整備していく。	見直しの上で実施 ・救護所に必要な物品を見直し、引き続き整備を進める。 ・医療救護計画や災害時健康支援マニュアル等の内容の検討、整備を引き続き実施する。 ・医療救護訓練を定例で実施する。	健康づくり課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野3 地域福祉

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方角性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
34	地域福祉推進事業(福祉総務事業)	福祉総務費	2,029	・『ワンストップ相談窓口』にて、複合的課題を抱える世帯の個別支援の充実を図るため、既存の会議等を活用し、多機関連携及び地域力強化に努め、包括的支援体制の構築を図る。	現状のまま継続 ・地域共生社会の実現を目指し、町民・事業者・行政等が協働し、情報共有を密接に行い連携を強化する。 ・福祉有償運送事業実施事業所の撤退により事業を休止しているが、事業所の新規参入がある場合は、福祉有償運送運営協議会を開催し事業を再開する。	福祉課
35	地域福祉推進事業(戦没者追悼事業)	戦没者追悼事業費	642	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から、規模縮小により令和2年10月2日開催する予定である。	現状のまま継続 ・参加者に配慮し、「追悼に関する部分」と「平和祈念に関する部分」など式典のあり方を検討しながら、毎年継続して実施する。	福祉課
36	地域福祉推進事業(地域福祉計画の策定)	地域福祉計画策定事業費	0	・地域福祉計画に限らず、幅広く地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制整備の推進を図るため、委員会名を「吉田町地域福祉推進委員会」に変更し地域福祉の推進を図っていく。	見直しの上で実施 ・令和4年度に次期計画策定を行うため、現状と課題を把握するためにアンケート調査等を行い、計画に反映できるようにしておく必要がある。	福祉課
37	地域福祉推進事業(社会福祉協議会)	社会福祉協議会補助金	34,657	・新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮に係る相談件数が非常に増加しており、緊急小口資金の特例貸付や住居確保給付金を通じて生活困窮者を支援することができた。	現状のまま継続 ・社会福祉協議会が地域福祉の推進を図るための中核的役割を担い、町や他の関係機関と連携しながら、地域の福祉力の増進に努めていけるよう補助金助成を継続する。	福祉課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
38	地域福祉推進事業 (民生委員・児童委員活動)	民生委員・児童委員活動費	6,347	・新型コロナウイルス感染症の影響により例年実施していた県外視察研修等は自粛するが、地区別研修や部会別研修の内容を工夫し地域住民からの相談に対応できるような体制を図る。	見直しの上で実施	・民生委員・児童委員協力員制度を活用し、民生委員児童委員の負担軽減と新たな担い手の掘り起こしをしていく必要がある。	福祉課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野4 社会保障(国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護)

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
39	国民年金事務事業	国民年金事務費	599	・年金保険料収納率向上のため、減免申請、納付猶予、クレジット納付、口座振替等の案内を強化している。	現状のまま継続	・法定受託事務・協力事務を適切かつ確実に処理する。 ・制度変更があった点については、被保険者に対し、周知及び理解に努める。 ・被保険者に対し、年金制度の周知及び理解に努める。	町民課
40	国民健康保険事業 会計繰出金	国民健康保険事業 会計繰出金	137,825	・国民健康保険事業を適正かつ円滑に行うため、基準内の繰出しを実施する。	現状のまま継続	・平成30年度から国民健康保険事業が広域化(市町と県の共同運営)されたが、一般会計からの繰出しについては、これまでどおり、国の示した基準に沿って適正に実施する。	町民課
41	国民健康保険事業 (特別会計)	国民健康保険特別 会計	2,785,817	・国民健康保険被保険者の医療を確保するとともに、被保険者の資格及び賦課徴収の適正かつ効率的な運用を図る。 ・保険証と高齢受給者証の一体化を実施し、効率的な事務処理を行う。 ・国保制度の広域化において、県内市町の保険税減免規定を統一化させる。 ・特定健診及び特定保健指導については、糖尿病性腎症重症化予防の観点から、積極的なアプローチ及び支援を行う。	見直しの上で実施	・医療費抑制に向け、特定健康診査の受診率向上を図り、早期に疾病を発見し予防することを目指す。 ・生活習慣病予備群には特定保健指導を実施し、医療費の抑制につなげる。 ・医療費の適正化を図るため、レセプト点検、重複多受診防止、ジェネリック医薬品の推奨等を行う。 ・インセンティブによる交付金事業(保険者努力支援事業)に対応するため、収納率の向上及び保健事業の強化を図る。	町民課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
42	後期高齢者医療事業	後期高齢者医療事業事務費	278,007	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の医療を確保するため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、引き続き適正に事業を実施する。 県単位の後期高齢者医療広域連合が事業主体となっている制度であるが、町が担当する業務については、適正かつ効率的に事務処理を行う。 保険料未納者に納付勧奨を行い、収納率向上を図る必要がある。また、制度の周知に努める。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 保険料の納付を含む制度の周知を図り、保険料の収納率向上に努める。 	町民課
43	後期高齢者医療事業(特別会計)	後期高齢者医療特別会計	278,502	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療制度の下、高齢者の医療を確保する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療制度について、今後も適正に事業を行う。 収納率向上のため、未納者への対応を継続して実施する。 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向け、高齢者の保健医療データの分析を行い、地域課題を明確にしていく。 	町民課
44	介護保険会計繰出金	介護保険事業会計繰出金	288,032	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度に基づいた割合で繰り出しを行い、第7期介護保険事業計画に沿って、事業を実施する。 低所得者保険料軽減制度に基づく負担割合における繰り出しを行う。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に「第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定し、同計画に基づき、事業を円滑に実施するために、介護保険制度に基づいた割合で繰り出しを行う。 	福祉課
45	介護保険事業(特別会計)	総務費 保険給付費 基金積立金 地域支援事業費 保健福祉事業費 諸支出金 予備費	36,693 1,702,146 8,258 112,437 1,264 35,085 0	<ul style="list-style-type: none"> 新しい総合事業として、緩和した基準のデイサービス通所型サービスA(おいしい集いA)を実施する。 介護保険料の納付促進のため、未納者に対し催告書を送付する。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に「第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定し、同計画に基づき、事業を実施する。 	福祉課
46	低所得者利用者負担額軽減措置事業	低所得者利用者負担額軽減措置事業費	222	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人等による利用者負担軽減制度に基づき、事業を実施する。 令和元年度の対象者は9人(施設入所者5人、在宅者4人) 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度に基づく事業であり、低所得者の負担軽減を図るため、現状のまま継続する。 	福祉課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方角性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
47	生活保護事業(生活保護費)	生活保護費	1	・旅行者及びホームレス等への旅費、終末期支援等を引き続き行う。	現状のまま継続 ・本事業は生活困窮者に対する突発的な資金援助に資するものであり、今後も存続させる必要がある。 ・生活保護制度の利用に至らぬように、生活保護実施機関である静岡県並びに生活困窮者自立支援機関である社会福祉協議会と連携し、生活困窮者におけるセーフティネットの強化を図る必要がある。	福祉課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野5 子育て支援

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方角性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
48	地域子育て支援拠点事業	地域子育て支援拠点事業費	5,314	・保健センターや児童館と相互に連携を図り、事業内容の見直しを行い、幅広く利用者を募っている。 ・土日開所をするために子育て指導員を確保し、毎週の土日開所が実施できている。 ・新たな事業(ゴハンのおはなし等)を開始し、利用者数の増加に努めている。 ・会計年度任用職員が常に新しい手作りおもちゃを作成し、コロナ禍イベントができないながらも来館者に楽しんでもらえるように工夫している。	見直しの上で実施 ・今後も、利用者の年齢やニーズを的確に捉え、各種事業を充実させる。 ・各種事業を充実させるとともに、事業の広報にも力を入れる。 ・事業数や実施場所の拡大等を図り、子育て支援センター利用者数の増大に努める。	こども未来課
49	吉田町次世代育成支援(児童手当事業)	児童手当費	495,260	・定期的な事務処理を行い、児童手当受給者へ児童手当を支給する。 ・児童手当現況届提出の際、窓口での提出を実施していたが今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、郵送での提出を実施した。	見直しの上で実施 ・児童手当法に基づき、適切に事務処理を行い事業を推進する。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、現況の郵送提出を実施するに当たり、書類の不備もなく業務として支障もなかったため、今後も継続していくか検討していく。	こども未来課
50	こども医療費助成事業	こども医療費助成事業費	136,170	・助成対象年齢を満18歳に達する最初の3月31日までとし、県補助金対象外である自己負担金についても単独で補助を行い、適切な事務処理を行うことで医療費助成を行っている。	現状のまま継続 ・静岡県こども医療費助成事業費補助金交付要綱及び吉田町こども医療費助成要綱に基づき、引き続き事業を推進する。	こども未来課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
51	児童福祉事業	児童福祉費	9,355	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度で、静岡県「ふじのくに地域戦略突破応援事業」補助金が終了しており、出産祝金事業については今年度から一般財源で運営している。 ・ファミリー・サポート・センターの周知等を行った結果、会員数が増加している。(令和2年4月1日現在で、サポート会員19人、リクエスト会員85人、両方会員4人の合計108人。令和元年度の活動実績は27件。) 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に策定した子ども・子育て支援事業計画に基づき、必要となる施策を検討する。 ・引き続き、出産祝金事業等、子育ての負担感を軽減するための施策を検討する。 ・ファミリー・サポート・センターの周知により会員数や利用実績の増加を図るとともに、円滑な運用のための見直しを行う。 	こども未来課
		ファミリー・サポート事業費	2,465				
52	保育園管理運営事業	保育園管理費	243,161	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員が会計年度任用職員となった。今後も待機児童を出さないためにも、引き続き保育士確保に努め、保育業務の安定を図る。 ・本年度も幼児教育カリキュラムの実施委員会を開催予定。 ・ALTを活用した英語教室を開催し、教育支援事業の事業拡大を図る。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月8日から5月17日までを家庭内保育依頼期間とし、この対象期間中に家庭内保育を実施した日数分について保育料を還付した。また、家庭内保育依頼期間外においても、就労先が認めた休暇の取得又は在宅就労を連続した5日間以上行った保護者に対して、利用料の還付を行う制度を作った他、求職活動を保育が必要な理由とする保護者に対し、特例としてこの期間の延長を認める制度も創設し、運用している。また、国庫補助等を活用し、衛生用品等の消耗品及び備品の購入を検討している。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き待機児童「0」を目指し、保育士・給食員等の確保を行う。 ・幼児教育・保育の無償化に関する事務業務に対して、国の制度に沿って対応する。また、無償化事務だけでなく、保育所入所等に関する事務全般の見直しを行う。 ・利用者負担額(保育料)等の未納対策を行う。 ・保育事業への民間事業者の新規参入等を検討する。 ・新型コロナウイルス感染症に関する保護者ニーズ等を的確に把握し、必要な施策を検討する。 	こども未来課
		さくら保育園運営費	17,884				
		すみれ保育園運営費	24,689				
		さゆり保育園運営費	18,611				
		わかば保育園運営費	24,413				
53	児童館運営事業	児童館運営費	8,685	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等により各種事業やイベントの周知を積極的に行うとともに、写真を活用し、さらなる周知を図るよう準備を進めている。 ・昨年度開催した児童館運営委員会において、意見を収集し、「じどうかんだより」に写真を用いる等、周知の仕方を工夫している。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、イベントや事業が実施できないものが多いが、職員同士で工夫し、少しでも利用者が楽しめる児童館運営に努めている。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館運営委員会を開催し、児童館のより良い運営のため、意見を収集し協議をする。 ・利用者のニーズを的確に把握し、事業内容や回数を検討しながら実施する。 	こども未来課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方角性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
54	児童遊園整備事業	児童厚生施設整備費	291	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木の伐採、草刈等については、快適な環境整備のため、各町内会等と協力して実施している。しかし、草刈り等の時期が集中するため、こども未来課での作業が増加し、職員の負担も多くなっている。 ・遊具修繕については、引き続き、優先順位を決めて対処している。 ・児童遊園地の規模、土地所有者等との関係から、今後の在り方を検討していく。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・児童遊園地の維持管理を行い、地域の子ども達に安全で快適な遊びの場を提供する。 ・既設の遊具は、定期点検の結果を基に、必要に応じて修繕を実施する。 	こども未来課
55	児童発達支援事業	こども発達支援事業費	23,183	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援及び幼児一人ひとりの成長を一層推進するため、引き続き事業(定期通園、並行通園、親子通園、相談支援)の取り組み。 ・町内保育園との交流を促進する。 ・職員研修の充実を図る。(月1~2回の園内カンファレンスの実施、子どもへの関わり方についての園内研修、施設見学等) ・園訪問を通じて療育の手立てを支援していく。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が安心して子育てができ、児童一人ひとりが健やかに育つためには事業を継続する必要がある。 ・保育園からの情報提供をもとに共通理解をしながら並行通園、親子通園に繋げていく必要がある。 	こども未来課
56	子ども会育成連合会助成事業	子ども会育成連合会助成事業費	400	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために、地域の活動を中止せざるを得ない状況である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う児童の心身ともに健全で健やかな育成を支援するために適切な補助金を支給する。 	こども未来課
57	放課後児童健全育成事業	放課後児童健全育成事業費 放課後児童クラブ建設事業費	67,859 —	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月から放課後児童クラブを増設し、利用児童が増加したことに加え、様々な特性を持つ児童への対応が必要となっていることから、支援員を増員し、より安全な放課後児童クラブの運営に努めている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う小学校臨時休校に対応し、子どもの居場所を確保するため、臨時的に児童の受け入れを行った。支援員についても消毒液等を使用し、感染防止対策に努めている。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月8日から5月17日までを家庭内保育依頼期間とし、この対象期間中に家庭内保育を実施した日数分について利用料を還付した。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの運営を円滑に行う。 ・利用者が待機することなく、安全に利用させる。 ・支援員の確保及び資質の向上を図る。 ・新型コロナウイルス感染症に関する保護者ニーズ等を的確に把握し、必要な施策を検討する。 	こども未来課
58	児童虐待防止事業	児童虐待防止事業費	2,779	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は、要保護児童等対策地域協議会の機能を精査し強化したが、令和2年度は、各事例のアセスメント及び評価を行い、より適切な支援を行う。 ・要保護児童等対策協議会で情報共有できているのか意見を伺い、評価したうえで指摘された部分を改正する。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭総合支援拠点の設置に伴い児童相談(児童虐待及びドメスティックバイオレンス対応)の体制強化を図る。 	こども未来課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方方向性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
59	ひとり親家庭対策事業	ひとり親家庭対策事業費	5,034	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭就学支援事業について対象者への周知を強化する。 昨年度から、ひとり親の放課後児童クラブ利用者のため、児童扶養手当受給者への利用料の減免を継続して行っている。 	<p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の経済的な自立と生活の安定を図るため、日常生活の支援や相談支援を行う。 児童扶養手当及びひとり親家庭等医療費助成は、国や県の施策に基づく事業であるため、適正な事務処理が行われるよう努める。 制度の変更に随時対応し、県と調整しながら事務処理を適正に行うよう努める。 	こども未来課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野6 高齢者福祉

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方方向性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
60	高齢者福祉推進事業	高齢者見守り体制整備事業費	0	<ul style="list-style-type: none"> 在宅福祉サービスについて対象者や関係機関により周知できるよう、ホームページ等を活用し周知啓発を行う。 	<p>見直しの上で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に「第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定し、次期計画に基づきサービスの検討・見直しを行う。 高齢者見守りネットワーク事業については今後も協力事業所を増加させ、高齢者を見守る体制を充実させる。 	福祉課
		ひとり暮らし高齢者等対策事業費	35			
		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費	1,306			
61	高齢者社会参加推進事業	高齢者社会参加推進事業費	9,601	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化社会へと社会情勢が急変する中、シルバー人材センターが果たす役割は日増しに大きくなってきている。これまで高齢者が培ってきた経験を生かし参加できる様々な社会貢献活動の場を整えるために必要な経費を補助していく。 さわやかクラブが実施している高齢者の生きがいと健康増進、地域社会のための事業等に対して補助金の交付を継続する。 	<p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センター会員の増加と高齢者の社会参加を推進するため、高齢者福祉推進関係団体としての活動を支援する。 高齢者の地域活動の推進と福祉の向上に資するため、さわやかクラブへの補助金交付による支援を継続する。 	福祉課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
62	高齢者福祉事業	福祉介護手当支給事業費	2,260	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活用具給付・貸与事業については令和2年度から介護保険特別会計の保健福祉事業で実施する。 敬老事業については、記念品贈呈対象者を80歳、85歳、90歳以上に変更する。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進む中、高齢者とその家族が安心して生活できるように、各種福祉サービスについて検討する。 	福祉課
		老人福祉対策費	129				
		敬老事業費	3,403				
		老人保護措置費	4,851				
63	高齢者福祉施設管理事業	社会福祉施設管理事業費	57,968	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の平等な利用の確保及び高齢者福祉施設サービスの向上が図られ、当該施設の効用を最大限に発揮するように努める。 老朽化した施設の修繕については、計画的に修繕を実施している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営について、住民サービスの向上や経費削減を図るため、指定管理者制度を継続し、管理運営していく。 	福祉課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野7 障害者福祉

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
64	障害者自立支援施設管理事業	障害者自立支援施設管理事業費	4,360	<ul style="list-style-type: none"> あつまりーナ運営委員会を開催し、現状の課題整理や今年度の事業計画について議論するとともに、修繕箇所の把握に努めた。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 現状の委託契約及び福祉サービスについて精査し、障害福祉施策が向上するよう取組の強化に努める。 	福祉課
65	障害者自立支援事業	心身障害者自立支援事業費	545,795	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町障害者(児)福祉推進委員会を開催し、地域課題の抽出をはじめ地域支援者との連携体制の構築を図る。 第6期吉田町障害福祉計画及び第2期吉田町障害児福祉計画(令和3年度～令和5年度)を策定し、各年度における障害福祉サービスについて、サービス種別ごとに必要な見込量を確保するための施策などを福祉関係事業所とともに検討する。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、引き続き事業を実施する。 障害者(児)のための相談支援として中核的な役割を担う機関となる基幹相談支援センターを2市2町(島田市、牧之原市、吉田町、川根本町)で設置する。 	福祉課
		地域生活支援事業費	25,765				
66	障害者在宅福祉事業	心身障害者施設等負担金	24,187	<ul style="list-style-type: none"> 障害者施設運営の支援を行い、障害児のライフワークを計画的・継続的に支援していく。 駿園学園について、志太榛原地域で唯一の障害児施設としての機能整理を図るために、構成市町で今後のあり方について検討していく。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 施設長寿命化計画を立てるための調査費を計上し、適正な負担金を支出し、障害児が安全で快適に利用できるよう支援を行う。 	福祉課
67	障害者更生援護事業	心身障害者福祉費	1,510	<ul style="list-style-type: none"> 障害に対する適切な医療と福祉サービスを継続して受けられるように、情報の周知とサポートを提供する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある人が身近な地域において、保健・医療サービス等を受けられることができる提供体制の充実を図り、自立生活に向けた支援体制を構築する。 	福祉課
		心身障害者更生援護費	46,701				

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 1 農 業

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
68	農業総務事業	農業総務費	981	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等へ参加し、知識の習得や情報交換等を通じて、近隣市町との協力関係を構築している。 ・気象災害を被った農作物の損害を補償する農業共済制度により、農家の経営を守り、農業生産の発展を促す制度として農家が納める掛金の一部を町が負担し、負担の軽減を図ると共に制度運営の円滑化に取り組んでいる。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等へ参加し、知識の習得や情報交換等を通じて、近隣市町との協力関係を継続する。 ・気象災害を被った農作物の損害を補償する農業共済制度により、農家の経営を守り、農業生産の発展を促す制度として農家が納める掛金の一部を町が負担し、負担の軽減を図ると共に制度運営の円滑化に継続して取り組む。 	産業課
69	農業委員会運営事業	農業委員会運営費	3,811	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員・農地利用最適化推進委員による農地利用状況調査において、農地を幹旋し、農地流動化(利用集積)の促進を図る。 ・研修会等へ参加し知識の習得や情報交換により、農地に関する諸問題を解決する。 ・経費削減を図り、より効率的な運営に努める。 ・農業者年金への新規加入を促進するため、個別訪問等を積極的に行う。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員・農地利用最適化推進委員の積極的な活動支援を行う。 ・農業委員・農地利用最適化推進委員による農地流動化(利用集積)を促進する。 ・農地法等の厳正な事務執行にあたり、農地流動化の推進や意欲ある担い手の育成・確保に取り組み、農業全般にわたる諸問題を解決するように努める。 ・農業者年金への新規加入を促進するため、個別訪問等を積極的に行う。 	産業課
		農業者年金事務費	161				
70	農業振興事業	農業振興費	3,362	<ul style="list-style-type: none"> ・農業等の多面的機能を発揮させるため、片岡西中生会農業支援部が行う農用地及び水利施設の維持管理活動を支援している。 ・農業経営振興会等への支援を行うことにより、地域農業の振興に寄与している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・農業団体等への支援を行うことにより、地域農業の振興に寄与する。 	産業課
71	農業経営所得安定対策推進事業	農業経営所得安定対策推進事業費	150	<ul style="list-style-type: none"> ・7人の農業者(新規:1人)が経営所得安定対策事業の申請を行い、事業に取り組んでいる。 ・水田台帳の整備について、見直しを行っている。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者を中心に経営所得安定対策事業の取り組み者を増やす。 	産業課
72	畜産事業	畜産事業費	111	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜衛生対策として、豚日本脳炎・パルボ混合(生ワクチン)104頭(6/10)、豚日本脳炎(不活性化ワクチン)100頭(7/8)のワクチン接種を行った。 ・豚熱蔓延防止として毎月第2水曜日に豚熱予防接種を行っている。 ・県では、県食肉センター再編について検討しており、関係市町への協力が求められている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・豚熱に対する対応を引き続き行い、蔓延防止に努めていく。 ・安定的な食肉供給等のため、衛生的な県食肉センターを設置することに対し、町が支援する。 	産業課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
73	担い手育成総合対策事業	担い手育成総合対策事業費	2,652	<ul style="list-style-type: none"> 吉田田んぼの人・農地プラン実質化の取組として、アンケート調査を実施し、その調査結果をもとに話し合いを行う。 認定新規就農者へ資金支援を行うことにより、就農後の農業経営への支援を行う。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の人・農地プラン実質化での取り組み結果をもとにし、今後の吉田田んぼの集積・集約化等の維持保全について方針を進めていく。 吉田田んぼの人・農地プランの実質化での取り組みに引き続き、各地域における将来方針を推進する。 安定した農業経営を維持するため、引き続き認定新規就農者を支援する。 	産業課
74	土地改良事業	土地改良事業費	22,518	<ul style="list-style-type: none"> 大井川土地改良区への賦課金助成金や第1期分の国営大井川用水農業水利事業に伴う償還金等への負担金に加え、本年度からは第2期分の国営大井川用水農業水利事業の償還金返済が始まった。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、土地改良区への賦課金助成金や国営大井川農業水利事業(第1期、H11～H21)に加え、令和2年度から同事業(第2期、H13～H29)に伴う償還金の支払が追加される。 農業水利施設は農業生産基盤の中核施設であると共に、環境、防災、国土保全等の多面的機能を果たす公共性・公益性の高い施設であり、今後も安定的な用水の供給や施設機能の適正な管理を図る。 	産業課
75	用水路補修・維持事業	用水路改良維持修繕費	709	<ul style="list-style-type: none"> 山崎頭首工修繕について、産業課や志太榛原農林事務所等と農地の受益地面積や取水量を整理したうえで、今後の施工方針について検討していく。 町内用水路の浚渫を実施している。 せぎ板等の用水資材を提供している。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、農地の効率的な利用が図れるよう、農業用施設の維持管理に努める。 山崎頭首工の修繕完了まで暫定的に仮設ポンプを設置して取水を確保しつつ、具体的な修繕方法について検討していく。 	建設課
76	用水路改修事業	用水路改修事業費	—	<ul style="list-style-type: none"> 実施予定無し。 	休止	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施時期を検討する必要があるため、令和3年度は休止とする。 	建設課
77	荒廃農地再生事業	荒廃農地再生事業費	100	<ul style="list-style-type: none"> 農地パトロールの実施をはじめ、利用意向調査に基づく荒廃農地の解消指導や町の補助金活用等により、荒廃農地の解消に取り組む。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 荒廃農地の解消及び発生防止の推進のため、引き続き担い手への斡旋や町独自の補助制度の広報及び活用に取り組む。 	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 2 水 産 業

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
78	水産振興事業	水産振興費	1,712	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初予定していたイベント出店によるPRを行うことが困難となった。今年度については、昨年度好評であったスタンプラリーを感染拡大に配慮した形で実施するほか、ホームページの更新を行うことでPR活動を行う。	現状のまま継続	・4市1町(静岡市、焼津市、牧之原市、御前崎市、吉田町)の連携を更に強化し、それぞれの持つ長所を活用しながら「駿河BlueLine」事業を実施することで、当町の水産物を県内外にPRし、効果的に水産振興を図る。	産業課
79	地域栽培推進事業	地域栽培推進事業費	467	・榛南地域栽培漁業推進事業等に対し支援することにより、漁場環境の向上や資源の確保等を図っている。 ・水産多面的機能発揮対策事業については、藻場の維持、管理を円滑に行うため、協定に基づき事業を実施していく。	現状のまま継続	・負担金による事業実施により、漁場環境の改善が図られ、漁獲量に対する効果が徐々に表れてきていることから、今後も継続的に事業を進め更なる水産資源を確保する。	産業課
80	漁港管理事業	漁港管理費	22,343	・漁港漁場整備法及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携を図りながら、吉田漁港の適正な維持管理を実施している。	現状のまま継続	・引き続き、漁港漁場整備法及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携し、吉田漁港の適正な維持管理に努める。	産業課
		漁港災害復旧費	8,030				
81	水産基盤整備事業	水産物供給基盤機能保全事業費	46,670	・4号岸壁防食工事については、交付金の内示率低下に伴い翌年度以降に実施する。 ・漁港環境整備事業については、引き続き継続的に実施し、町民の安全安心を確保するため早期完成に努める。	現状のまま継続	・引き続き、漁港施設整備に係る各事業の事業計画に沿って計画的に事業を実施する。特に、多目的広場の整備を重点的に実施し早期完成に努めるとともに、漁港環境の向上を図るため、機能保全事業において、港内の浚渫工事を継続実施する。	産業課
		漁港施設機能強化事業費	—				
		漁港環境整備事業費	8,392				
		漁港環境整備事業費(繰越明許)	18,000				
82	小規模局部改良事業	小規模局部改良事業費	—	・緊急を要する安全施設の整備については、平成28年度事業で完了したため、引き続き漁港内の点検を通して状況把握に努めるとともに、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と協議し、必要な漁港施設の整備の検討を行っていく。	休止	・現時点では緊急を要する施設整備はないため、令和3年度は休止する。	産業課
83	流木等処理対策事業	流木等処理対策事業費	—	・漂着物の状況によるため、現時点では事業予定なし。	現状のまま継続	・台風等の影響で海岸に漂着物が打ち上げられ、漁港海岸の景観保持や環境対策が必要となる場合に実施する。	産業課

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり 分野3 商工業

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)		令和3年度の方針		
84	商工業振興事業	商工業振興費	2,005	・商工業振興事業費補助金交付要綱に基づき、商工会に補助金を交付することにより、商工業の活性化を図っている。	現状のまま継続	・小規模事業者の経営の安定と振興を図るため、補助金要綱に基づき、商工会が行う経営改善普及事業を支援し、補助金支出を継続する。	産業課
		プレミアム付商品券事業費	11,908				
85	中小企業振興事業	中小企業振興費	635	・新型コロナウイルスの影響を受けた町内中小企業者の経営支援を目的とし、経済変動対策貸付資金を実施する。 ・設備投資等の資金調達の円滑化を図るため、要綱に基づき利子助成等を行っている。	現状のまま継続	・引き続き、各制度要綱に基づき適正に事業を行い、中小企業の経営基盤の安定及び健全な発展を支援する。	産業課

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり 分野4 観光

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)		令和3年度の方針		
86	観光振興事業	観光振興費	47,355	・観光協会と連携するイベントについて、町外からの集客を図ることのできるイベントにリニューアルすることを検討している。 ・展望台小山城の女坂について、ユニバーサルデザインに配慮し、より多くの観光客を呼び込むことのできるよう、手すりの設置に向けて工事設計の業務委託を行う。	見直しの上で実施	・新型コロナウイルスにより観光交流客数自体は減るものの、Afterコロナのイベント再開時にスタートダッシュを図ることは急務であり、施設の整備及びイベントの企画立案については引き続き行。	産業課
87	観光PR事業	観光PR事業費	1,175	・展望台小山城・小山城売店「しらすのまどぐち」において、新たに御城印の販売を開始し、新たな客層を取り入れ、城を目的に来た来場者へも吉田町の特産品等の情報発信を行える体制を整えた。 ・昨年度開設した観光情報を発信するSNSアカウントを活用し、町内だけではなく町外の観光客呼び込みにも取り組む。 ・小山城御城印の販売による観光PRを実施する。	現状のまま継続	・Afterコロナの観光需要増に備え、情報発信体制を整え、準備を行う必要がある。 ・引き続き、小山城の御城印を販売し、観光PRの推進を図る。	産業課

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり 分野5 新産業

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
88	産業支援事業	産業支援事業費	2,819	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度からスタートした「吉田町創業支援事業計画」が、令和2年度末で計画期間が終了するため、令和3年度からの「吉田町創業支援等事業計画」を策定し、国の認定を受ける。 現行の計画の反省点及び課題を解決できるような、新たな創業支援ネットワークを構築する。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度中に認定を予定している「吉田町創業支援等事業計画」がスムーズにスタートできるようネットワーク連絡会の内容を強化する。 創業支援センターの利活用を推進し、創業を目指す方々を多面的に支援する。 	産業課
89	産業委員会運営事業	産業委員会運営事業費	0	<ul style="list-style-type: none"> 各団体の現状、課題の共有、情報提供の場として積極的な意見交換を図っていくとともに、今後の産業委員会の進め方や開催時期等を検討する。 	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から産業支援事業に移行したため。 	産業課

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり 分野6 企業誘致

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
90	企業立地振興事業	企業立地振興費	145,120	<ul style="list-style-type: none"> 遊休地情報を収集及び整理し、用地情報を提供することで、引合案件の増加に繋げる。 企業立地促進事業費補助金交付要綱に基づき、適正な補助金事務処理を進めている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 町内への企業立地を促進させるため、効果的な手法による企業誘致情報の発信や企業立地支援体制の強化を図るなどの積極的な企業誘致活動を実施する。 	産業課

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり 分野7 雇用・就業対策

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
91	労働福祉事業	労働福祉費	2,552	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者の余暇や健康増進活動等の福利厚生の実現を図り、安定した労働力を確保するため、補助金要綱に基づき適正に事業を進めている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者の余暇や健康増進活動等の福利厚生の実現を図り、安定した労働力を確保するため、補助金要綱に基づき、榛南地域労働者福祉協議会及び榛南地区勤労者共済会への補助金支出を継続する。 	産業課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方角性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
92	雇用対策事業	雇用対策費	419	<ul style="list-style-type: none"> ・有能な技能労働者を養成し建築技術者を育成するため、補助金要綱に基づき適正に事業を進めている。 ・公共職業安定所と連携しながら、求人情報や就職セミナー等の情報提供を行い、雇用促進を図っている。 ・合同企業説明会の開催時期等を連携機関と検討し開催する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、補助金要綱に基づき榛南職業訓練協会を支援し、職業人として有為な労働者の養成を図る。 ・公共職業安定所と連携を強化し、就業促進を図る。 ・就労に悩みを持つ若者に対して、就労支援セミナーを実施する。 ・インターンシップ受入先企業の開拓や高校・大学等と地域間の交流を促進することにより、当町への雇用創出及び若者定着を図る。 	産業課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり

第 4 章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野 1 土地利用

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
93	国土利用計画(吉田町計画)策定事業	国土利用計画事業費	—	<ul style="list-style-type: none"> 第3次吉田町国土利用計画に沿って土地利用を進めている。 引き続き均衡ある土地利用を図るため、第3次吉田町国土利用計画に沿った土地利用を進める。また、第4次吉田町国土利用計画策定に向けて社会情勢をとらえるほか、県、国が実施する研修会等に参加して情報収集を行う。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町国土利用計画は、国土利用法第8条の規定に基づき、吉田町の区域における土地利用に関する基本的事項を定めるものである。 第3次吉田町国土利用計画の目標年次は令和5年度となっており、引き続き本計画に沿った土地利用を図る必要があるほか、県、国が実施する研修会等に参加して情報収集を行う。 	企画課
94	土地利用及び開発行為関連事業	都市計画総務費	479	<ul style="list-style-type: none"> 東名吉田インターチェンジ周辺地域の土地利用誘導のためのスケジュール案を作成し、今後円滑な土地利用誘導が図れるよう検討を進めている。 土地利用事業については、健全な開発の誘導のため適切な指導及び誘導を行っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画法に基づく開発許可制度及び町の土地利用事業承認制度が設けられてから30年以上が経過し、初期に開発された宅地分譲地等の調整池及び緑地広場の金属フェンス等の経年劣化が多くみられるため、住民の安全のため適切に修繕を行う必要が生じている。また、樹木の繁茂もみられ、住民の快適な住環境を創出するためにも計画的な維持管理に努める必要がある。 東名吉田インターチェンジ周辺の都市計画の誘導施策について、県都市計画担当部局、町農業委員会など関係機関との協議を進め、今後の方策を決定する必要がある。 	都市環境課
		土地利用対策費	1,105				
95	都市計画マスタープラン策定事業	都市計画マスタープラン策定事業費	—	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年2月に策定し、平成30年3月に変更した吉田町都市計画マスタープランに即した都市づくりを進めている。 引き続き、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、吉田町都市計画マスタープランに即した都市づくりを進める。 次期吉田町都市計画マスタープランの策定に向け、社会情勢を的確に把握するとともに、情報収集等を進める。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2の規定に基づき、町が、その創意工夫の下に住民の意見を反映し、まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地区別のあるべき市街地像を示すとともに、地域別の整備課題に応じた整備方針、地域の都市生活、経済活動等を支える諸施設の計画等をきめ細かくかつ総合的に定めたものである。 現行の吉田町都市計画マスタープランの計画期間は、令和7年度までとなっており、引き続きマスタープランに即した都市づくりを進めるとともに、次期計画の策定に向けた情報収集等を行う。 	都市環境課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野2 住環境

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実組状況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
96	建築確認事務事業	建築確認事務費	135	・静岡県事務処理の特例に関する条例に基づき適正に事務処理を行う。	現状のまま継続	・引き続き、静岡県事務処理の特例に関する条例に基づく事務について、県の事務処理手引きに基づき円滑に処理する。	都市環境課
97	みどりのまちづくり事業	みどりのまちづくり事業費	0	・効果的な周知の方法を再検討し、補助金制度及び生け垣づくりによる効果を併せて周知する。	見直しの上で実施	・制度周知方法の改善を図りつつ、引き続き生け垣づくり事業補助金を交付するとともに、令和元年度から静岡県が新設した「美しいいなみ整備事業(ブロック塀撤去事業と生け垣づくり事業の一体型補助金)」の導入を検討する。	都市環境課
98	花のまち推進事業	花のまち推進事業費	1,765	・花街道事業について、里親の現状及び希望を調査し、結果に合わせて事業内容の見直しや代替手段を検討する。 ・吉田町花いっぱい活動補助金については、引き続き補助金を交付することで、人の融和と花を基調とした景観づくりを促進するとともに、町民が花に囲まれたやさしい空間の中でゆとりある心を持って生活できる環境を創出するとともに、事業をより促進するために新たに企業などを対象とするなどの検討を行う。	見直しの上で実施	・花街道事業については、若年層の里親の発掘に努める。 ・吉田町花いっぱい活動補助金については、対象の拡大等を検討の上、引き続き補助金を交付することで、町民が花に囲まれたやさしい空間の中でゆとりある心を持って生活できる環境を創出する。	都市環境課
99	土地区画整理事業	土地区画整理事業費	19,993	・令和元年度に引き続き、公共施設や住環境整備の推進を図る。	現状のまま継続	・都市機能の充実した安全で安心な生活環境を確保するために、事業計画に沿った段階的なまちづくりを推進する。 ・土地区画整理事業区域内の保留地処分を進めることにより、定住の促進につなげる。	都市環境課
100	西の宮雨水幹線整備事業	西の宮雨水幹線整備事業費	—	・浜田土地区画整理事業の進捗状況を勘案した結果、令和2年度の工事は未発注とする。	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和3年度は休止とする。	都市環境課
101	町営住宅維持管理事業	町営住宅維持管理費	10,136	・現行の「吉田町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、令和2年度については、松下団地B棟の居住性改善事業設計業務委託及び同団地A・B棟の居住性改善工事を実施する。	現状のまま継続	・現行の「吉田町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、計画的に町営住宅の修繕及び改善事業を実施する。なお、令和3年度以降は、前年度から引き続き松下団地A・B棟の居住性改善工事を実施する。	都市環境課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野3 公園・緑地・水辺

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
102	緑化推進事業	緑化推進費	3,113	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町みどりのオアシスマつりの来場者を増加させるため、イベント内容の検証・見直しを実施し、その充実を図るよう計画したところであるが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ開催を取り止めた。 ・新築家庭苗木配布事業により、令和元年に住宅を建築した者に対して樹木苗木の配布を行った。 ・小山城まつり(11月)では、家庭における緑化啓発を目的として、吉田町花の会と連携し花苗等啓発物資の配布を行うことで、直接的に家庭レベルでの植栽活動の推進する予定であったが、開催中止となったため代替案を検討中である。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、吉田町緑のオアシス条例に基づき緑化意識の普及に努めるとともに、緑豊かなまちづくりを促進するため、緑化イベントが更に魅力あるものとなるよう事業内容の検証・見直しを実施する。 	都市環境課
103	公園維持管理事業	公園維持管理費	33,454	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な公園管理を図れるよう、芝生の管理について見直しを行った。 ・公園利用者が快適に公園施設を利用することができるよう、遊具等の点検を実施する。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の憩いの場である公園を安全に利用できるよう、ベンチや遊具等の点検を行い、計画的に維持修繕を実施する。 ・公園利用者が快適に利用することができるよう、樹木の剪定や草刈等を実施し、適正な公園管理に努める。 ・公共施設の中長期的な管理を実施するため、長寿命化計画の策定を検討する。 	建設課
104	都市公園愛護活動事業	公園愛護会支援事業費	300	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公園愛護活動を自発的に行う団体に対して報償金を交付することで、公園愛護活動の助長を図っていく。 ・愛護会が設立されていない都市公園について、設立を促すために、地域住民を中心に情報提供を積極的に行っていく。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公園愛護活動を自発的に行う団体に対し、報償金制度の積極的な活用を促進する。併せて、他の緑化推進団体と連携し、都市公園施設が、地域住民等により適正に維持管理され、その機能を十分発揮できるよう、より一層の公園愛護活動の助長及び充実を図る。 	建設課
105	住吉西の坪公園整備事業	住吉西の坪公園整備事業費	—	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定無し。 	休止	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施時期を検討する必要があるため、令和3年度は休止とする。 	建設課
106	公園整備事業	公園整備事業費	—	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定無し。 	休止	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施時期を検討する必要があるため、令和3年度は休止とする。 	建設課
107	松くい虫防除事業	松くい虫防除事業費	3,540	<ul style="list-style-type: none"> ・住吉、川尻地内の松林全域の薬剤散布を実施した。 ・年度末に松くい虫による被害木の伐倒駆除及び松枯れへの予防剤注入を行う予定。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・防風、防潮、飛砂防備等、松林の公益的機能を保全するため、事業を継続する。 	産業課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実組状況	令和3年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
108	保安林等保護環境整備事業	保安林等保護環境整備事業費	3,236	<ul style="list-style-type: none"> ・保安林内の下草刈についてまちづくり公社に依頼し、実施している。 ・松葉の回収を月1回を目途に都市環境課と行っている。 ・来年度以降の森林環境譲与税の活用に向けて、保安林内の雑木伐倒、枝払いの検討をしている。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、保安林内で下草刈や支障木の伐倒を行っているが、地元の方からの保安林の維持管理に対する要望が多いため、森林環境譲与税の活用等を検討し、計画的な維持管理を行っていく。 	産業課
109	河川維持管理事業	河川総務費	944	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の環境美化活動を支援する制度(リバーフレンドシップ制度)の申請団体と県の橋渡しを行うとともに、制度の早期利用実施を行う。 ・各種同盟会等の活動を通じ、河川愛護及び河川整備の促進を図った。 ・良好な河川環境を確保するため、河川パトロールを実施した。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の環境美化活動を支援する制度(リバーフレンドシップ制度)を広く周知することにより、今後もボランティア団体の参加数を増やす取組を行う。 ・快適な河川環境の保全が図れるよう、自発的に河川清掃を実施する団体を支援する。 ・引き続き、良好な河川環境を確保するため、河川パトロールを実施する。 	建設課
		河川維持管理費	3,663				

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野4 道路網

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実組状況	令和3年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
110	大幡川幹線道路改良事業	大幡川幹線道路改良事業費	7,959	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策のため遅延していた地元への報告会を7月3日に、神社関係者との協議を7月18日に開催した。 ・今年度中に道路線形が決定するよう、道路線形変更(案)の検討や関係者との調整を重ねる。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の変更手続きを実施し、社会資本総合整備計画及び路線測量業務に着手する。 	建設課
111	中央幹線整備事業	中央幹線整備事業費	—	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定無し。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道未整備区間(L=70m)の整備に着手する。 	建設課
112	都市計画道路負担金事業	都市計画道路事業負担金	138	<ul style="list-style-type: none"> ・「志太榛原地区国道150号バイパス建設促進期成同盟会」により国及び県への要望活動を実施する予定である。 ・「富士山静岡空港アクセス道路等建設促進期成同盟会」により国及び県への要望活動を実施した。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町と連携を図りながら国や県への要望活動を実施することで、当町を含む志太榛原地区の幹線道路網の促進が期待できるので、各同盟会へ参加する。 	建設課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
113	町上3号線道路改良事業	町上3号線道路改良事業費	15,070	・1地権者に対して用地買収及び物件移転補償を実施する予定である。 ・道路整備工事を実施し、今年度中に供用を開始する予定である。	終了	・令和2年度事業完了予定	建設課
114	企業活動維持支援事業区域基盤整備事業	企業活動維持支援事業区域基盤整備事業費	45,508	・実施予定無し。	終了	・令和元年度事業完了	建設課
115	道路改良事業	三軒屋西の宮線道路改良事業費	—	・実施予定無し。	見直しの上で実施	・大幡川尻2号線の道路改良(側溝設置)を実施する。 ・間屋堤線の用地取得を実施する。	建設課
		大幡川尻2号線道路改良事業費	—				
		問屋堤線	—				
116	道路維持管理事業	土木管理費	16,407	・毎週、道路パトロールを実施し、道路の破損箇所等の早期発見・修繕に努めている。 ・第三者被害を防止する観点から道路附属物等の点検を実施する。	見直しの上で実施	・引き続き、安全で快適な道路環境を確保するため、道路の維持管理に努める。 ・現在使用している公用車2台について、走行距離20万キロ近くになっており、年々修繕が多くなっているため公用車リースを検討する。 ・ドローン導入について、災害時の急務な情報確認や上空写真の撮影等により、道路ストックメンテナンスの自前点検時にと幅広く活用できるため、庁内横断的に運用していく。	建設課
		道路維持費	40,453				
117	吉田町内道路舗装修繕事業	吉田町内道路舗装修繕事業費	17,048	・東名片岡線の舗装修繕が完了する見込である。 ・新規路線への舗装修繕に着手する予定である。	現状のまま継続	・優先順位に従って、舗装修繕を実施する。	建設課
118	橋梁維持補修事業	橋梁維持補修費	18,700	・橋梁点検を行う。(令和元年度～令和5年度までの予定総点検数253橋) ・引き続き、橋長5m未満の橋梁については、職員による点検を行う。 ・過年度の結果に基づき、補修設計を委託発注する。 ・過年度の補修設計に基づき、補修工事を実施する。	現状のまま継続	・橋梁点検を行い損傷を分類し、結果に応じて、迅速な対応を講じたり、効率的な修繕を実施するための指標として、引き続き実施する。 ・診断結果に基づき、速やかに補修設計・工事を実施する。	建設課
		橋梁維持補修費(繰越明許)	—				

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野5 生活交通

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
119	生活交通確保対策事業	生活交通確保対策費	9,306	<ul style="list-style-type: none"> 「吉田町地域公共交通協議会」の中で具体的に協議し、「吉田町地域公共交通計画」を策定する。 引き続き、地域間幹線系統確保維持費補助金により、国庫補助路線の維持を図る。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に策定する「吉田町地域公共交通計画」に基づき、交通事業者をはじめとする地域の関係者と協議しながら、公共交通の改善や移動手段の確保に取り組む。 	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野6 コミュニティ

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
120	自治会活動推進事業	自治振興費	16,718	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの地域の特色を活かした自発的な自治会活動等を支援するため、引き続き、自治会運営費補助金を交付する。 町と自治会役員との連携・交流を図ること等を目的として、各種研修事業を実施する。 	現状のまま継続	総務課	
		自治会運営費	4,480				
		地域施設管理費	4,650				
		町内会運営費	3,800				
		町内会活動費	8,519				
121	コミュニティづくり推進事業	コミュニティづくり推進事業費	17	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティカレッジ受講者が地域教育推進協議会が企画する事業へ参画できるように、コミカレねっとわーく吉田と協力を図りながら、事業を推進する予定である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、多くの町民がコミュニティづくりの研修を受講することにより、生涯学習としてのまちづくりについて学ぶ機会を提供する。また、受講した町民には、地域教育推進協議会が企画する事業への参画を促進する。 	生涯学習課
122	コミュニティ施設整備事業	コミュニティ施設整備事業費	2,500	<ul style="list-style-type: none"> (一財)自治総合センターが実施する「令和2年度一般コミュニティ助成事業助成金」を活用することにより、地域の円滑なコミュニティ活動に資する。 各自治会を通じて、(一財)自治総合センターの「令和3年度コミュニティ助成事業」の要望調査を実施し、要望に基づき取りまとめを行い県へ申請する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ助成事業を効果的に活用できるよう、各自治会に周知を徹底し、事業を実施する。 	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野7 多文化共生

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実組状況	令和3年度の方角性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
123	多文化共生推進事業	多文化共生推進事業費	1,407	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、国際交流協会の活動を支援し、町内在住外国人と地域住民の共生を推進する。 近年増加傾向にある外国人住民に対し、行政サービスを円滑に提供するため、6月1日から「吉田町多文化共生総合相談窓口」を開設している。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町国際交流協会が補助金を活用して実施している事業の一部について、業務委託への移行に向けた検討を行う。 令和2年度の実績を踏まえ、必要に応じて「吉田町多文化共生総合相談窓口」の運営体制等の見直しを行う。 	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野8 賑わいづくり

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実組状況	令和3年度の方角性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
124	シーガーデンシティ推進事業	シーガーデンシティ推進事業費	266	<ul style="list-style-type: none"> 空港周辺推進エリア協議会において、引き続き計画策定に係る調査・課題整理を行うとともに、2市1町にある既存拠点や東名吉田IC周辺などの新拠点を効果的に連携させていく推進エリア認定の申請をする予定である。 物資供給拠点確保事業区域において、引き続き商業施設の立地の促進を図っていく。 シーガーデンシティ構想推進計画に基づき、新たな賑わい創出拠点整備の具現化に向け関係機関との連携を図っていく。 シーガーデン整備に係る民間活力の導入に向け、内閣府によるPPP/PFI案件の事業化支援を受けている。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ふじのくにフロンティア推進エリアの形成に伴い、新拠点となる東名吉田IC周辺の整備を円滑に進めるために、推進体制を整えていく。 シーガーデンシティ構想推進計画に基づき、新たな賑わい創出拠点整備の具現化に向け関係機関との連携を図っていく。 	企画課
	シーガーデンシティ推進事業費(繰越明許)	1,728					
125	シティプロモーション事業	シティプロモーション事業費	40,306	<ul style="list-style-type: none"> 町内への移住定住を促進するため、町内及び近隣市の不動産業者、住宅メーカー等に若年世帯新築住宅取得応援補助金の周知について協力を依頼しているほか、町内の事業所にもチラシを配布し、町内で働く人に向けた補助制度の周知も実施している。 町の魅力を積極的かつリアルタイムに発信するためSNS(Instagram)を用いた情報発信を実施しているほか、新たに移住定住のためのwebサイトを立ち上げた。移住希望者に向けた情報を集約して発信することにより、希望者とつながっていく環境の構築を目指す。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 町の移住定住促進に向けた施策等をより広く周知するために様々な手法を検討していく必要がある。 地域おこし協力隊を介して、地域で活動している個人や団体と連携し地域ぐるみのシティプロモーションに取り組む。 	企画課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
126	地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊事業費	7,489	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から、非常勤の特別職としての雇用ではなく、町が隊員と業務委託契約を締結し、隊員はこの契約に基づき地域おこし活動に取り組んでいる。 隊員の退任に伴い、令和2年3月から「観光・イベント」の活動を担う隊員の募集をしたが、数名の応募はあったものの採用には至っておらず、募集する活動内容の変更を検討している。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度中に現在活動中の隊員の任期が満了となるため、その後の隊員の募集に関しこれまでの実績を踏まえて活動内容を検討する。 	企画課
127	ふるさと納税推進事業	ふるさと納税推進事業費	307,346	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税サイトを1社追加し、寄附の受入れ拡充を図った。 各サイトの担当者と定期的にミーティングを行い、返礼品ページの改善を行うことでアクセス増加につなげた。 魅力ある返礼品の取扱いを増やし、寄附の増加を図るとともにさらなる町の魅力発信に努める。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税に係る国の動向を注視し、ふるさと納税の趣旨に沿った適切な運営に努める。 	企画課
128	大井川流域交流事業	大井川流域smileネット事業費	1,475	<ul style="list-style-type: none"> 「よしポケNEWS」やSNS (Instagram) 等を活用するなど、積極的にFM島田のラジオ番組を周知し、町内で開催されるイベント等の情報や、町のPRを行うことにより、大井川流域の住民同士の交流を促進するための情報発信を進めていく。 イベントの広報の方法や内容を見直し、大井川流域の魅力発信や住民同士の交流促進を図っている。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 総務課で実施している「よしだまちかど情報」への集約を検討し、より効果的・効率的な情報発信体制を整える。 今年度開催できなかったイベントを中心に、引き続き広報の方法や内容を見直す。 	企画課
		大井川流域交流費	652				
129	空港活用推進事業	空港活用推進費	906	<ul style="list-style-type: none"> 空港周辺市町空港共生協議会において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束した折にはPR事業を実施する予定である。 静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業について、シーガーデン多目的広場整備事業及び川尻区の道路改良事業、小山城参道改修工事に補助金を活用する。 富士山静岡空港株式会社と連携し、空港利用者を対象とした観光ルートの開発に取り組んでいる。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 空港と地域の調和ある発展を進めるため、吉田町空港対策協議会と連携しながら空港対策及び利活用促進を図る。 空港周辺市町が共通の認識の下に空港周辺のまちづくりや賑わいづくりに取り組むため、空港周辺市町空港共生協議会を継続して開催する。 静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業について、引き続きシーガーデン多目的広場整備事業等に補助金を活用する。 	企画課
130	交流活性化推進事業	地域交流費	2,148	<ul style="list-style-type: none"> 吉田カムカム補助金事業について、毎年対象事業が固定されてきているため、制度のPR等を行い新しいイベントの促進を図っていく。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 「八女市・吉田町未来創造の翼交流事業」について、引き続き八女市との都市間交流事業を実施する。 吉田カムカム補助金事業により、町外の多くの人が当町を訪れ、町の賑わい創出につながっていることから、本事業を継続しつつ、制度を見直し交付対象を拡大したため、制度のPR等を行い新しいイベントの促進に努める。 	企画課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野1 幼児教育

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
131	幼児教育振興事業	幼児教育振興事業費	54,087	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員研修会、幼児教育カリキュラム実施委員会等の中で保幼小の先生が幼児教育の充実に向けた話し合いを行うことにより、保育園、幼稚園と学校との交流・連携を深めている。 令和元年10月から幼児教育・保育の新たな無償化制度が開始されたことにより、幼稚園就園奨励費補助金制度は廃止された。私立幼稚園運営費補助金については、引き続き実施している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 今後、更に保幼小の交流・連携を深め幼児教育の充実を図るため、幼児教育カリキュラムについては、現状のまま継続して実践する。 私立幼稚園運営費補助金については、現状のまま実施する。 	学校教育課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野2 学校教育

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
132	教育委員会運営事業	教育委員会費	1,094	<ul style="list-style-type: none"> TCPTリビンスプランの施策を順次実施し、新学習指導要領に沿った教育改革を進めていくため、先進地視察で得た知識等を速やかに学校現場に反映させるとともに、総合教育会議や教育委員会における協議をより充実させていく。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 教育についての知識及び見聞を広めるため、視察研修を実施する。 教育委員会の権限に委ねられている事項は、引き続き、円滑な執行に努めるとともに、新たな教育施策の執行に当たっては、総合教育会議で合意した方針の下に進める。 教育委員会における審議について、より活性化を図る。 	学校教育課
133	事務局事務事業	事務局事務費	5,536	<ul style="list-style-type: none"> 適正な学籍管理、就学時健診の実施、経常経費の執行、関係団体への負担金の納入等を行うことで、適切な教育委員会事務局の運営を行っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の諸活動を円滑に実施するために、引き続き適切な教育委員会事務局の運営を行う。 	学校教育課
134	教職員等教育活動補助事業	教職員等負担金・補助金	4,542	<ul style="list-style-type: none"> 中学校体育連盟大会運営負担金等の支出や中学校部活動の県大会以上派遣補助金の交付を行い、教職員の指導力強化や部活動を通じた生徒の育成等を図っている。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 必要な経費が適切に補助されるよう、現行の補助事業内容を整理した上で、補助対象事業、対象者、対象経費等を見直す。 	学校教育課
135	ちいさな理科館事業	ちいさな理科館事業費	5,398	<ul style="list-style-type: none"> ちいさな理科館周辺、水辺の生き物、植物の観察会を行い実際に自然にふれることのできる講座を継続的に実施する。 館内の掲示物や展示物を整理し、来館者が気軽に来れるよう環境整備を行う。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 子どもだけでなく大人も活用できる地域住民の生涯学習の場としての事業展開を実施し理科館の活性化を図る。 	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
136	住吉小学校維持管理事業	住吉小学校維持管理費	34,691	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた施設の維持管理、教育材料の購入等を行い、教職員及び児童の教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の整備を図っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。 	学校教育課
137	中央小学校維持管理事業	中央小学校維持管理費	36,733	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた施設の維持管理、教育材料の購入等を行い、教職員及び児童の教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の整備を図っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。 	学校教育課
138	自彊小学校維持管理事業	自彊小学校維持管理費	27,230	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた施設の維持管理、教育材料の購入等を行い、教職員及び児童の教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の整備を図っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。 	学校教育課
139	吉田中学校維持管理事業	吉田中学校維持管理費	50,577	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた施設の維持管理、教育材料の購入等を行い、教職員及び生徒の教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の整備を図っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、確かな学力、豊かな心、健やかな体を培うため、良好な教育環境を整備する。 	学校教育課
140	小・中学校要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	住吉小学校要保護・準要保護児童就学援助費	1,522	<ul style="list-style-type: none"> ・国の「要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱」が一部改正され、消費税増税に伴い支給額が増額されたことから、町の「要保護・準要保護就学援助費事務処理要領」を改正し、支給限度額の増額を行った。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の国及び近隣市町の動向に注視しつつ事業を実施するとともに、新小中学校1年生の入学前支給について必要となる周知や手続を着実に行う等、適切な援助を行っていく。 	学校教育課
	中央小学校要保護・準要保護児童就学援助費	1,690					
	自彊小学校要保護・準要保護児童就学援助費	1,288					
	吉田中学校要保護・準要保護生徒就学援助費	5,365					

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)		令和3年度の方針		
141	小・中学校特別支援学級事業	住吉小学校特別支援学級費	464	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じた教育材料の購入等を行い、特別支援教育の充実及び教育環境の向上を図っている。 ・国の「要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱」が一部改正され、消費税増税に伴い支給額が増額されたことから、町の「特別支援教育就学奨励費事務取扱要領」を改正し、支給限度額の増額を行った。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の教育環境を充実させるため、児童生徒の特性に鑑み、必要な教材等を提供する。 ・「特別支援学級への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対し、適切に経済的な支援を行う。 	学校教育課
		中央小学校特別支援学級費	773				
		自彊小学校特別支援学級費	492				
		吉田中学校特別支援学級費	1,150				
142	教育振興事業	教育振興事業費	227,798	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする児童生徒の教育を円滑に実施するため、巡回相談員派遣事業及び吉田町児童生徒等教育相談事業を実施している。 ・国が進めるGIGAスクール構想の実現に向け、小中学校のWi-Fi環境整備工事及び児童生徒1人1台端末の整備を行っている。また、これに伴い、教職員のICT活用指導力の向上を目的とした研修を実施している。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施した事業で得た成果を活かして、児童生徒の確かな学力の定着を図る事業を行う。 ・GIGAスクール構想の実現に係る補助事業については、令和2年度で終了する。 	学校教育課
		教育振興事業費(繰越明許)	—				
		英語教育推進事業費	19,726				
		確かな学力定着事業費	43,554				
		小中一貫教育振興事業費	774				
143	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(共同調理場)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(給食施設費)	121,873	<ul style="list-style-type: none"> ・広域施設組合及び関係市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広域施設組合及び関係市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出する。 	学校教育課
144	小・中学校健康診断事業	小・中学校健康診断費	11,396	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童生徒健康診断やフッ素洗口事業実施の日程を再調整の上、適切に実施する体制を整えた。 ・町内全小中学校に勤務する教職員を対象に、メンタルヘルスチェックを実施した。 ・児童生徒の保護者や医療機関の負担軽減のため、インフルエンザ罹患証明書を導入した。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法及び吉田町立学校職員安全衛生管理規程に基づき、健康診断等を通して健康管理を行う。 ・国、県、町健康づくり課の施策・動向に目を配りながら、適切な健康管理が行えるよう事業を行っていく。 	学校教育課

第 5 章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野 3 地域教育

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
145	地域教育推進事業	地域教育推進事業費	1,539	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向け、各団体への支援を継続し、「地域の子どもは地域で育む」活動を推進する。 ・家庭教育学級を充実させることで、保護者の興味がある内容を学習する場を提供し、家庭での教育力を高めていく。 ・現在、中央小学校区と自彊小学校区で放課後子ども教室を実施しているが、令和2年度は住吉小学校区でも4時間授業に対応した放課後子ども教室を実施する予定である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体に継続した支援を行い、学校・家庭・地域の連携を強化する。 ・引き続き、家庭教育学級事業を通して、親の役割についての学びの場を提供する。また、親同士がお互いに子育ての悩みを語ったりすることを通して、親同士の交流を深める。 ・家庭教育学級事業において、多くの親に参加を求めている必要があるため、魅力的な講座を展開していく。 ・学校行事と抱き合わせで開催したり、親子で体験・参加できる形態をとることで参加しやすくし、また、親が安心して参加できるよう、託児の対応もしていくことで参加率を向上させる。 ・家庭教育学級の重要性を学校とも連携をとりながら、親へ呼びかける。 ・3小学校区で4時間授業に対応した放課後子ども教室を実施する予定である。 	生涯学習課
146	地域教育活動事業	地域教育活動費	2,775	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県立焼津青少年の家で活動を行い、他施設では体験できない海洋活動を実施する予定である。 ・引き続き、閉講式で体験教室の時間を長めに設定し、次年度への意欲へと繋げていく予定である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ教室事業を行うことで、子どもに様々な体験を提供することができるのと同時に、地域の大人と子どもが関わる機会が増え、地域力の向上を図ることができることから、継続して実施する。 ・チャレンジ教室事業を通して、地域の大人が地域の子どもたちと積極的に関わることによって、「地域の子どもは地域で守り育てる」活動を広める。 ・チャレンジ教室において、子どもたちが様々な体験ができるよう、幅広い講師の募集を行う必要がある。 ・多種多様な教室を展開するため、地域から新たな教室の講師を発掘する。 	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野4 青少年健全育成

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実施状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
147	青少年健全育成事業	青少年健全育成事業費	590	<p>・笑顔いっぱい運動事業による、現状の取組を継続していくことが、「地域の子どもは地域で育てる」という青少年健全育成の環境づくりにつながっている。今年度もこの事業を継続することで学校・家庭・地域の中に「黄色のベスト」をさらに定着させていく。そして、地域活動や学校応援団など他事業等でも黄色のベストを活用していただくことでこの事業を更に周知させていく。</p>	現状のまま継続	<p>・青少年健全育成委員会事業について、青少年健全育成の環境づくりを行うため、青少年健全育成委員の活動について、引き続き実施する。</p> <p>・青少年健全育成事業において、「地域の青少年は地域で育てる」を柱に地域の青少年に、地域の大人が温かな眼差しを向け、声を掛け、積極的にかかわることを通して、青少年の健やかな成長を支援する。黄色のベストがそのシンボルとなるよう活動を継続する。</p>	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野5 芸術文化・文化財

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実施状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
148	芸術・文化振興事業	芸術・文化振興事業費	2,705	<p>・子どもたちに文化、芸術に親しめる場の提供を行う。</p> <p>・文化祭については、町民に日ごろの練習を披露する「発表の場」を提供する。文化祭により多くの町民が参加するようPRし、広報での情報提供や、全戸配布など参加者を増やすよう努力する。</p>	現状のまま継続	<p>・住民が優れた芸術文化を鑑賞できる機会を得られるよう事業を継続する。</p> <p>・文化協会会員が減っている現状にあり、今後、町民に対し、生涯学習活動の一環として文化活動に取り組むよう、推進する必要がある。</p>	生涯学習課
149	文化財保護事業	文化財保護事業費	549	<p>・令和元年度に登録された新規文化財について、引き続き、正しい文化財の保存・保護に努める必要がある。</p> <p>・文化財現況調査の結果・指導経過を保存し、今後、有効且つ適正な維持管理をしていくための資料とする。</p>	現状のまま継続	<p>・文化財保護審議会を運営し、文化財の保存・保護に努める。</p> <p>・文化財の標柱・案内看板の維持管理を推進する。</p> <p>・新規に指定が考えられる事物について、文化財保護審議会で審議する。</p> <p>・文化財の保存・保護を図ることにより、郷土の歴史を知り歴史的遺産の価値を理解するとともに、郷土愛を育て、豊かな心を育む教育、文化づくりに繋がる。</p>	生涯学習課

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 かな 人 を 育 む ま ち づ くり 分 野 6 生 涯 学 習

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方向性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
150	社会教育総務事業	社会教育総務費	252	<ul style="list-style-type: none"> ・県のほか、様々な団体のホームページや通知等で確認し、研修会等の情報収集に努めた。 	<p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、社会教育を推進するため、社会教育総務事業を実施する。 ・更なる職員の資質向上を図るため、研修会に参加する。 	生涯学習課
151	社会教育委員事業	社会教育委員費	698	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力向上を目指し、新たに社会教育団体が連携したイベントの開催に向けて、準備を進めている。 	<p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育法第15条の規定に基づく吉田町社会教育委員条例により設置された社会教育委員の資質向上及び会議の活性化を行うため、引き続き、事業を実施する。 	生涯学習課
152	生涯学習推進事業	生涯学習推進事業費	96	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため生涯学習推進員研修会が中止となったため、令和2年度は委員に向けて生涯学習とはどのようなものか、生涯学習推進員として何が出来るかを考える研修会を行う。 ・研修会を行うことで生涯学習に対する理解を深めるとともに委員の資質の向上を図っていく。 	<p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、生涯学習推進委員への研修会を行い一般住民の生涯学習社会への理解を深める。 ・誰もが学習機会を持てるよう、障がい者(児)に対し、生涯学習の活動支援を行う。 	生涯学習課
153	中央公民館活動事業	中央公民館活動費	5,612	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアカレッジ、寿大学において、町民の学習ニーズを把握するために、実施後にアンケート調査を実施し、ニーズに合った様々な分野の講座を開講し、参加者数を増やす。 	<p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して町民の学習機会を提供するため、参加者アンケート等を実施し、学習ニーズの把握に努める。 ・寿大学、シニアカレッジ、生涯学習教室へより多くの人に参加してもらうために、魅力ある講座を開講し、学習機会の充実を図る。 	生涯学習課
154	中央公民館運営事業	中央公民館運営費	9,383	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館に日ごろの成果の発表の場として、小規模な展示コーナーを設置し、受講生自身の生きがいと更なる成長となる機会の提供に努めている。 	<p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猛暑や寒波の影響で電気料金が上がっている状況である。 ・節約に努めながら利用者が安全で快適に学習活動が行えるよう施設管理を行う。 	生涯学習課
155	学習ホール運営事業	学習ホール運営費	7,675	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策として、施設利用の際のチェックリストの提出、ポンプ型石鹸を設置し、手洗いうがい励行の呼び掛けを実施した。 ・引き続き、施設の運用について適正な維持管理に努める。 ・合併浄化槽原水ポンプの修繕工事を実施した。 	<p>見直しの上で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化や耐震性の課題に対して、計画的な改修や修繕を検討するとともに、誰もが安全、安心して利用しやすい施設となるよう整備する。 	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実組状況	令和3年度の方角性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
156	図書館管理事業	図書館管理費	42,729	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で居心地の良い施設環境を長期的に維持するため、機械設備の定期メンテナンスや法定点検を実施し良好な施設設備の維持管理に努める。 ・新型コロナウイルス感染防止対策として、来館時の手指消毒剤の設置、諸室使用後の机、椅子等の除菌シートを設置した。 ・近年の異常気象に伴う猛暑により、消費電力量削減のための、空調管理や調整が年々困難になってきている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館機能を活用した「地域の知の拠点」づくり推進のため、建物、設備やIT機器等の性能及び機能を常時適切な状態に保つよう維持管理に努める。 ・「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月文部科学省告示第172号)を達成できるよう、情報処理機能の向上を図り、有効かつ迅速なサービスを行うことができる体制を整える。 	生涯学習課
157	図書館活動推進事業	図書館活動推進費	24,694	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者に親しまれ信頼される図書館を維持するため、職員の接遇態度の向上や既存資料の修理・買換え、新たに設置したコーナーの蔵書を充実させることで、安心して快適な空間を利用者に提供する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な図書の除籍作業を行うとともに、図書資料とは異なる特性を持つ視聴覚資料の収集も含め、図書館の蔵書構成を見直し資料保存の在り方を検討することで、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月文部科学省告示第172号)の趣旨に沿った図書館運営が行えるようにする。 	生涯学習課
158	図書館外構整備事業	図書館外構整備事業費	—	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定無し。 	休止	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施時期を検討する必要があるため、令和3年度は休止とする。 	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野7 スポーツ・レクリエーション

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実組状況	令和3年度の方角性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
159	体育施設・広場維持管理事業	体育施設・広場維持管理費	7,259	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策として、施設利用時のチェックリスト作成、ポンプ型石鹸を設置、手洗いうがい励行の呼びかけを実施した。 ・使用日誌の特記事項に記載があった場合には、早急に現状を確認し、対応策等について利用者へ報告している。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・週に一度の施設点検と利用者による使用日誌の提出については引き続き行っていく。 ・利用者からの要望を参考にしながら、スポーツ広場植栽等の管理業務内容を精査し、利用者に満足いただけるよう計画的な管理運営を図っていく。 	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
160	総合体育館運営事業	総合体育館運営費	30,371	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止対策として、施設利用時のチェックリスト作成、ポンプ型石鹸を設置、手洗いうがい励行の呼び掛けを実施した。 アリーナの結露事案に際し、現状で出来る限りの冷気流入策を施し、大会等を予定どおり開催することができた。 引き続き、各種の施設設備の保守点検を実施するとともに、体育館の利用については利用者会議の開催や事前調整等を行い、維持管理とスムーズな運営に努める。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020に向けて更なる利用者数の増加が見込まれるため、新たなニーズに対応するべく、各種事業の内容充実を図る。 新設する空調設備・自家発電装置等の現場運用に際し、施設利用者に不便をきたさないための運用策を講じる。 	生涯学習課
161	吉田町体育センター運営事業	吉田町体育センター運営費	1,663	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止対策として、施設利用時のチェックリスト作成、ポンプ型石鹸を設置、手洗いうがい励行の呼び掛けを実施した。 引き続き、適正に施設の維持管理に努める。 利用者の安全確保のため、施設の耐震化に向けた検討が必要である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、利用者に対し快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供していくため、引き続き、施設の整備及び維持管理を実施する。 	生涯学習課
162	社会体育振興事業	社会体育振興費	7,577	<ul style="list-style-type: none"> これまでの「初心者スポーツ教室」を「よしだスポーツサークル」にリニューアルし、受講者同士で教え合うなど受講者同士のつながりを感じさせ、仲間と楽しく継続していってもらえるように教室運営を変更して実施している。 スポーツ推進委員会の中で、既存事業の現状と課題を分析し、「町民一人一スポーツの実現」に向けた具体的な取組について事業の企画、広報の両面から今後の方向性を協議、検討している。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 各種大会、スポーツ教室について、町民ニーズを把握し参加者数増加を見込むことができる魅力的な事業を実施する。 平成29年度にリニューアルし、令和2年度に空調設備設置工事を進めている総合体育館において、夏場の猛暑でも安全にスポーツができる環境を効果的に活用し、魅力的なスポーツイベントの開催を検討していく。 	生涯学習課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ く り 分 野 1 上 水 道

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方向性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
163	水道事業会計(資本的支出)建設改良事業	建設改良費	214,543	<ul style="list-style-type: none"> 安全な水道水を安定して供給するため、予定した建設改良事業を着実に進める。 引き続き静岡県生活基盤施設耐震化等補助金の交付を受け、基幹管路の耐震化を進める。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 水道水の安定供給を図るため、基幹管路(送水管)の耐震化事業を進める。 法定耐用年数を経過した管路を更新する老朽管布設替事業では、漏水事故・地下漏水等の無効水量を減らすために計画的に布設替を実施していく。
		固定資産購入費	496			
164	水道事業会計(水道事業費)営業費用	原水浄水及び配水給水費	131,216	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町上水道事業給水条例や吉田町水道事業及び下水道事業会計規程等に基づく事務を行う。 地方公営企業会計制度等による企業会計基準で会計処理を実施する。 未収金徴収を引き続き行い、昨年度同様の収納率を維持する。 平成30年度に策定した経営戦略に基づき、令和2年度に水道施設更新計画を策定する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業は、水道法第6条第2項に「市町村経営の原則」が規定されており、地方公営企業法第17条の2には、「地方公営企業の経理は、一部例外を除き、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てなければならない、独立採算制であること。」が規定されている。今後とも、「水道の三原則(清浄、豊富、低廉)」を意識して、安全な水を安定して供給する。 補助金で実施可能なルートを選定し、管路更新計画を策定する。
		受託工事費	0			
		業務費	41,068			
		総係費	24,567			
		減価償却費	236,291			
		資産減耗費	6,432			
		その他営業費用	49			
165	水道事業会計(水道事業費)営業外費用	支払利息及び企業債	48,522	<ul style="list-style-type: none"> 健全財政を維持し、適切な企業会計処理を行う。 経営戦略に基づいて企業債の借入を行うが、償還額を見据え、経営の健全化を図る。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 健全財政を維持し、適切な企業会計処理を行う。 経営戦略に基づき、企業債の借入を必要最小限度に止め、経営の健全化を図る。
		雑支出	161			
		消費税	17,155			
166	水道事業会計(水道事業費)特別損失	その他特別損失	0	<ul style="list-style-type: none"> 様々な不測の事態に会計処理上対応するため、特別損失を予算計上する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 会計処理上の不測の事態に対応するため、特別損失を予算計上する。
167	水道事業会計(水道事業費)予備費	予備費	0	<ul style="list-style-type: none"> 様々な不測の事態に対応するため、予備費を予算計上する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 不測の事態に対応するため、予備費を予算計上する。
168	水道事業会計(資本的支出)企業債償還金	企業債償還金	162,838	<ul style="list-style-type: none"> 「当該年度の借入額は、当該年度の元金償還額を上回らないこと。」の原則を遵守しながら、引き続き借入先からの償還表に基づく償還を行い企業債残高を減らす。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、借入の原則に基づき企業債残高を減らし、借入先からの償還表に基づいて企業債を償還する。

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
169	水道事業会計(資本的支出)国庫(県)支出金返還金	国庫(県)支出金返還金	321	・生活基盤施設耐震化等交付金要綱に基づき、適正な事務処理を行う。	現状のまま継続	・生活基盤施設耐震化等交付金要綱に基づき、適正な事務処理を行っていく。	上下水道課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野2 下水道・浄化槽・し尿処理

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
170	公共下水道事業繰出金	公共下水道費	645,854	・繰出先の公共下水道事業会計については、令和2年度から地方公営企業会計を適用したことから、より適正な繰出金となるよう負担金と補助金に分けて繰り出すこととした。	現状のまま継続	・下水道事業が滞りなく執行できるように、下水道事業に係る収入で賄うことができない費用に対して一般会計からの繰出しを補助金部分の削減に努めつつ継続する。	上下水道課
171	公共下水道事業会計(資本的支出)建設改良費	建設改良費	476,923	・令和2年度も下水道の普及促進のため、管渠を整備するとともに、既設施設への地震対策及びストックマネジメント計画に基づく浄化センターの電気・機械設備の更新を実施する。	現状のまま継続	・下水道の普及促進のため、吉田町公共下水道全体計画及び吉田町公共下水道事業計画に沿って事業を実施する。 ・ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の更新を実施する。 ・地震対策については、吉田町下水道総合地震対策計画に沿って事業を実施する。	上下水道課
172	公共下水道事業会計(下水道事業費用)営業費用	管渠及び処理場費 総係費 減価償却費	147,591 37,429 0	・吉田町下水道条例や吉田町水道事業及び下水道事業会計規程等に基づく事務を行う。 ・適切な下水道施設の保守点検等を実施することにより、安定した汚水処理を行う。	現状のまま継続	・適切な保守点検を実施し、下水道施設の安定した稼働に努める。 ・予防保全型の施設管理を行い、修繕費用の抑制を図る。	上下水道課
173	公共下水道事業会計(下水道事業費用)営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	108,748	・「当該年度の借入額は、当該年度の元金償還額を上回らないこと。」の原則を遵守して行う起債に対する利息について、引き続き借入先からの償還表に基づく利息の支払いを行う。	現状のまま継続	・引き続き、借入先からの償還表に基づいて企業債の利息を支払う。	上下水道課
174	公共下水道事業会計(下水道事業費用)予備費	予備費	0	・様々な不測の事態に対応するため、予備費を予算計上する。	現状のまま継続	・不測の事態に対応するため、予備費を予算計上する。	上下水道課
175	公共下水道事業会計(資本的支出)企業債償還金	企業債償還金	447,094	・「当該年度の借入額は、当該年度の元金償還額を上回らないこと。」の原則を遵守しながら、引き続き借入先からの償還表に基づく償還を行い企業債残高を減らす。	現状のまま継続	・引き続き、借入の原則に基づき地方債残高を減らし、借入先からの償還表に基づいて企業債を償還する。	上下水道課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
176	生活排水改善対策事業	生活排水改善対策事業費	24,079	・公共用水域の水質汚濁防止を一層推進するため、引き続き循環型社会形成推進地域計画に基づき、事業を実施する。	現状のまま継続	・合併処理浄化槽の設置が進み、浄化槽処理人口普及率が着実に向上している。 ・生活排水による公共用水域の水質汚濁が防止されるよう、引き続き本事業を推進する。	上下水道課
177	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(し尿処理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(し尿処理費)	93,687	・令和元年度に引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していく。	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ くり 分 野 3 環 境 衛 生

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
178	環境衛生推進事業	環境衛生推進事業費	5,022	・令和元年度に引き続き、飼い主のいない猫による生活環境問題を減少させるため、獣医師や協力団体と連携を行う。 ・令和元年度に引き続き、狂犬病予防接種の接種率を上げるために、積極的な広報活動や未実施の飼い主への働きかけを行う。	現状のまま継続	・引き続き、「狂犬病予防法」に基づく事務処理及び「動物の愛護及び管理に関する法律」で行える飼い主のいない猫による対策を講ずる。 ・一般廃棄物処理業の届出に係る事務処理を適切に行う。	都市環境課
179	環境保全事業	環境保全費	21,384	・令和元年度に引き続き、公共用地の適正な管理を行い不法投棄の防止を図る。	現状のまま継続	・引き続き、河川等の環境整備作業を計画的に行い環境保全に取り組む。	都市環境課
180	環境教育推進事業	環境教育推進事業費	177	・令和元年度に引き続き、町民の環境問題に関する意識を高めるような、より身近で関心の高いテーマの学習の場を提供する。	見直しの上で実施	・環境に対する啓発事業の拡大を図り、町民が環境を考える機会を増やす。 ・県補助による「エコチャレンジKIDS事業」終了に伴い、他課との連携による環境啓発事業を実施する。	都市環境課
181	公害対策事業	公害対策費	5,170	・令和元年度に引き続き、適正な環境監視と公害発生源対策を推進するとともに、新たな環境問題については関係機関と連携するなどして的確な対応を進める。	見直しの上で実施	・各種法律に基づく特定施設について排出基準等の規制値の遵守や公害事故防止対策の指導を行うことにより、生活環境を保全する。 ・「環境基本法」に定められた、自治体における環境保全に関する「環境基本条例」制定のための準備を行う。	都市環境課
182	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(火葬場費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(火葬場費)	16,425	・令和元年度に引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していく。	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野4 ごみ減量・リサイクル

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実行状況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
183	ごみ減量・リサイクル推進事業	ごみ減量・リサイクル推進事業費	7,784	・令和元年度に引き続き、一般ごみの減量化や資源化を推進するため、ごみの分別を徹底し資源化を図る。	現状のまま継続	・今後も環境に配慮した循環型社会を目指し、一般廃棄物の適正処理、ごみ減量化・資源化を推進する。	都市環境課
184	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)	455,238	・令和元年度に引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していく。	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野5 地球温暖化防止対策

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実行状況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
185	地球温暖化防止対策事業	地球温暖化防止対策事業費	1,361	・令和元年度に引き続き、吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業費補助金交付要綱に基づき、太陽光発電システム並びに蓄電池システムを設置する者に対して補助金を支給する。	現状のまま継続	・地球温暖化を防止するため、引き続き自然エネルギーを活用した機器等に対する補助を交付する。	都市環境課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野1 行財政

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
186	一般行政事務事業 (企画)	企画調査費	6,444	<ul style="list-style-type: none"> ・中部5市2町首長会議に参加し、広域連携に関する調査・検討を実施している。 ・中部5市2町による連携中枢都市圏形成に係る連携協約に基づき、連携して地域課題の解決に向けた取組を行っている。また、昨年度に引き続き、「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」の掲載事業を実施する。 ・「第5次吉田町総合計画前期基本計画」及び次期「第1期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の総括評価のため、吉田町総合計画等審議会を開催する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・絶えず変化する行政課題に柔軟に対応するため、常に最新の情報を収集するとともに、調査研究を継続して行う。 ・中部5市2町による連携中枢都市圏形成に係る連携協約に基づき、連携して地域課題の解決に向けた取組を行い、「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」の掲載事業を継続して実施する。 	企画課
		町制70周年記念事業費	3,564				
187	吉田町総合計画策定事業	吉田町総合計画策定事業費	4,070	<ul style="list-style-type: none"> ・行政評価結果報告書に、事中評価が記載されるよう、Cシートを一部様式変更を行った。 ・引き続き、吉田町まちづくりステップアップ行政評価に基づいたPDCAサイクルに沿って事業を進めるとともに、前期基本計画の各事業を評価検証する、「第5次吉田町総合計画前期基本計画総括評価結果報告書」を作成し、今後のまちづくりに生かす。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度開始の第5次吉田町総合計画後期基本計画に基づき、吉田町まちづくりステップアップ行政評価に基づいたPDCAサイクルにそって事業を進め、第5次吉田町総合計画基本構想に定める将来都市像の達成を推進する。 	企画課
188	行財政構造改革推進事業	行財政構造改革推進事業費	16	<ul style="list-style-type: none"> ・「吉田町まちづくりステップアップシート」の作成に関する変更点について周知するため、希望する職員を対象に説明会を開催した。 ・吉田町行財政構造改革推進本部会議において、「第5次吉田町総合計画前期基本計画総括評価」及び「第1期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略総括評価」を審議する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・非効率な事務運営を是正するため、「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」によるPDCAサイクルに基づいた事業の見直しを継続して実施する。 ・引き続き、吉田町行財政構造改革推進本部会議において、行財政改革に関することを中心に審議を実施する。 	企画課
189	一般行政事務事業 (総務)	一般行政事務費	40,412	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー機の使用頻度が高くなっているため、使用枚数に応じて印刷機、プリンターを有効に活用し、経費削減に努める。 ・行政事務を、適正かつ円滑に執行するため、引き続き事務改善に努める。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・行政事務を、適正かつ円滑に執行し、最小の経費で最大の効果を上げられるよう、引き続き、事務改善に努める。 	総務課
190	吉田町牧之原市広域施設組合負担金 (一般管理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金 (総務管理費)	29,816	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、牧之原市と連携を密にし、広域的事業を展開することで、事務の効率化を図る。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出する。 	総務課
191	日曜開庁事業	日曜開庁事業費	3,844	<ul style="list-style-type: none"> ・日曜開庁事業を一層推進するため、引き続き、適正に事業を進める。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、行政サービスの利便性の観点から、日曜開庁を実施する。 	総務課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度を取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
192	庁舎施設維持管理事業	庁舎管理費	82,614	・快適な公共施設空間を確保するために継続して維持管理を行う。	現状のまま継続	・町民が快適に利用できる施設として、引き続き清掃・設備点検等の日常的管理及び建物・設備などの修繕を実施し、行政サービスの拠点となる庁舎の適切な維持管理を行うとともに、電力量の監視による空調運転時の最大需要電力を抑制することにより、維持管理費の削減を図る。	総務課
193	公有財産管理事業	公有財産管理費	20,838	・引き続き、町有財産の有効的な売払いまたは貸付を行い、収入の増加と維持管理経費の削減を図る。 ・売払い可能な普通財産について、売却の推進を図るため、宅地建物取引業者の仲介を実施し、専門業者のノウハウやネットワークを活用した。	現状のまま継続	・土地の借上げ・公共施設の修繕、法定点検または町有地の売払・貸付については、町有財産の適正な維持管理を図るため、継続して実施する。 ・引き続き、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に沿って公共施設の修繕を行い、適正な維持管理を実施する。	総務課
194	公用車管理事業	公用車管理費	3,082	・安全かつ迅速に公務を執行できるよう、引き続き公用車の管理を行う。	見直しの上で実施	・安全かつ迅速に公務を執行するために、引き続き公用車の管理を行う。 ・公用車の老朽化に対応するため、今後の更新方法や更新年度の検討を行う。	総務課
195	契約管理事業	契約管理費	1,005	・今後も公平性・透明性の高い適正な入札や契約事務を執行する。 ・入札の執行にあたり、適切な事業者の選定を行うため、入札参加を希望する事業者の資格審査を行い、競争入札による公正かつ適正な入札、契約事務を行う。 ・民法改正に伴い、契約約款について必要な改正を行った。	現状のまま継続	・引き続き、工事検査及び入札・契約事務を円滑かつ適正に執行するとともに、建設業法等の改正があった場合は、制度の見直しについても検討する。 ・各課が部分的な設計資料の提供を求める場合は、設計手数料の利用を促す。	総務課
196	選挙管理事業	選挙管理費	726	・公職選挙法に基づき、引き続き、公正かつ適正な事務処理を行う。 ・新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえた選挙運営について調査研究している。	現状のまま継続	・公職選挙法に基づく事業であり、引き続き、公正かつ適正に執行する。	総務課
197	明るい選挙推進事業	明るい選挙推進費	24	・選挙・政治に関する知識及び意識を一層向上させるため、引き続き、積極的な選挙啓発を行う。	現状のまま継続	・選挙・政治への関心を高めるため、引き続き、ポスターコンクール、選挙出前授業、選挙時の街頭啓発等を行う。	総務課
198	参議院議員選挙事業	参議院議員選挙費	12,139	・選挙の予定はないが、新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえた選挙運営について調査研究している。	休止	・公職選挙法に基づく参議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和3年度においては、選挙の予定はない。	総務課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
199	衆議院議員選挙事業	衆議院議員選挙費	—	・選挙の執行はないが、新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえた選挙運営について調査研究している。	見直しの上で実施	・公職選挙法に基づく衆議院議員選挙が、令和3年度に執行される予定である。	総務課
200	県知事選挙事業	県知事選挙費	—	・選挙の執行はないが、新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえた選挙運営について調査研究している。	見直しの上で実施	・公職選挙法に基づく県知事選挙が、令和3年度に執行される予定である。	総務課
201	県議会議員選挙事業	静岡県議会議員選挙費	4,015	・選挙の執行はないが、新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえた選挙運営について調査研究している。	休止	・公職選挙法に基づく静岡県議会議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和3年度においては、選挙の予定はない。	総務課
202	町長、町議会議員選挙事業	町長、町議会議員選挙費	7,698	・選挙の執行はないが、新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえた選挙運営について調査研究している。	休止	・公職選挙法に基づく町長、町議会議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和3年度においては、選挙の予定はない。	総務課
203	一般行政事務事業 (戸籍住民基本台帳事務)	戸籍・住民基本台帳事務費	39,202	・総合証明自動交付機契約更改により、令和2年10月から機器が変更となるため、変更後は速やかに対応する。 ・デジタル手続法の施行により、住基システム及び戸籍の附票のシステム改修、またマイナンバーを戸籍事務と連携するための戸籍情報システムの改修があるため、これに係る事務手続きを円滑に遂行できるようにする。 ・マイナンバーカードの取得促進に努める。 ・令和2、3年度の2カ年、藤枝地区戸籍住民基本台帳事務の事務局担当となっている。	見直しの上で実施	・戸籍システムリプレイス(令和3年7月)があるため、機器更改が円滑に遂行できるようにする。 ・総合証明自動交付機と証明書コンビニ交付サービスの併用は利便性の向上となるが経費がかかる。令和5年9月末に自動交付機契約終了により機器は撤去となるため、自動交付機廃止についての周知、広報とマイナンバーカードの取得促進に努める。 ・住民サービスの向上とマイナンバーカードの取得を促進するため、マイナンバーカードの申請、交付について周知、広報する。	町民課
204	一般行政事務事業 (出納管理事務)	出納管理事務費	1,855	・振込通知を封筒からはがきへ変更し、個人情報記載箇所を隠すはがき用ラベル貼り機の導入により、事務の効率化と経費削減が図られている。	現状のまま継続	・公金の収納及び支払い事務を円滑、適正に執行する。 ・合理的な資金運用を検討し、確実性のある運用を行う。 ・効率的な事務執行に向けて検討し、改善を図る。	会計課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
205	一般行政事務事業 (議会)	議会運営費	64,528	<ul style="list-style-type: none"> ・「開かれた議会」の実現に向け、吉田町議会基本条例の推進及び議会報告会の充実等に必要となる検討を行うとともに、その支援を行う。 ・議会情報の発信方法及び議会ICT化の推進等の支援を行うとともに、議会活動及び運営の支援に必要な専門的知識の習得及び有意な情報の収集を行う。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「開かれた議会」の実現に向け、吉田町議会基本条例の推進及び議会報告会の充実等に必要となる検討をさらに行うとともに、その支援を積極的に行う。 	議会事務局
		議会調査活動費	3,680				
206	一般行政事務事業 (監査)	監査委員費	1,209	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な監査の実施を目的として策定した監査日程に基づき、財政的援助団体等(指定管理者)監査を実施するとともに、さらに効率的かつ効果的な監査を目指し、年間を通して検証を行うことで、次年度以降の日程等に反映させるものとする。 ・地方自治法の改正に伴い、総務省からの指針に沿った「吉田町監査基準」の制定により、それに準拠したより効果的な監査を実施する。 ・下水道事業の公営企業会計移行等に伴い、監査に必要な情報の収集に努めるとともに、知識の習得を目的とした研修等への参加を計画している。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・監査をより充実させるため、監査日数(回数)及び方法等について、引き続き検討する。 ・監査事務強化のため、監査委員事務局の設置及び専門性を持った職員の配置について検討する必要がある。 	議会事務局
207	統計調査事業	統計一般事務費	173	<ul style="list-style-type: none"> ・諸統計調査により得られるデータは各種行政運営に必要なため、引き続き実施する。 ・統計要覧発行事業は、現状どおり最新のデータに更新して発行するが、ニーズや時代に即していない項目については、削除や修正等を行い、改善を図る。 ・より多くの登録統計調査員を確保し、各統計調査を経験する中で、調査員の資質向上を図る。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行政運営に必要なデータを得るため、引き続き実施する。 ・統計要覧発行事業は、行政だけでなく住民、企業等に町の状況を正確に周知するために、必要な事業であるため、継続して実施する。 ・町民に広くPRし、より多くの登録統計調査員を確保する。 	企画課
		諸統計調査費	1,814				
208	土地取得事業繰出金	土地取得事業特別会計繰出金	—	<ul style="list-style-type: none"> ・用地先行取得に係る土地取得事業特別会計の起債償還に対する事業であるが、現在、対象となる償還は無い。 	休止	<ul style="list-style-type: none"> ・用地先行取得に係る土地取得事業特別会計の起債償還に対する事業であるが、現在、対象となる償還は無い。 	総務課
209	土地取得事業特別会計	一般管理費	22	<ul style="list-style-type: none"> ・土地開発基金への積み立てを継続して行う。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・土地開発基金への積み立ては継続し、また、用地の先行取得が必要な際は、即座に対応できるよう事業を継続する。 ・今後取得費を借入した場合には、次年度以降元金及び利子を公債費により償還する。 	総務課
		財産取得費	19,962				
		繰出金	0				
		公債費	—				
210	普通財産活用事業	普通財産取得費	0	<ul style="list-style-type: none"> ・土地取得事業特別会計から土地を買い戻して一般への売払いの対象とする。 ・一般競争入札に付し、土地を売り払う。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に土地取得事業特別会計から土地を買い戻し、一般競争入札に付し、土地の売払いを行う。 	総務課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
211	財政管理事業	財政管理費	3,268	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度決算状況を踏まえ、交付税措置のない起債を取り止めるなど、後年度負担の抑制を図った。 今後も社会保障費などの増加が見込まれる状況下であり、健全な財政運営を保つよう努める必要がある。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障費等の増加、会計年度任用職員制度の導入、老朽化が進む公共施設等の適正管理等による財政需要の増加が見込まれる中での予算編成を行わなければならないことから、これまで以上に既存事業の必要性・妥当性を精査し財源を確保する必要がある。 	企画課
212	公債費償還事業	公債費(元金)	995,506	<ul style="list-style-type: none"> これまでと同様に償還表に基づく定期償還を行っているが、今後の繰上償還等について検討を行っている。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響等による歳入の減少が確実に見込まれる中で、義務経費である公債費の負担が非常に大きい。そのため、高利率で交付税措置のない起債の繰上償還等により後年度負担を減少させることを検討する。 	企画課
		公債費(利子)	72,941				
		公債諸費	0				
213	基金費事業	財政調整基金費	338,182	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、財政調整基金の減少が見込まれる。 今後も社会保障費等の増加が見込まれる状況下であり、健全な財政運営を保つため、基金運用についても検討する必要がある。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 今後の財政需要や不測の事態に備えるため、財政調整基金及びその他特定目的基金の積立てや、必要に応じて新たな基金の創設を検討する必要がある。 	企画課
		減債基金費	3				
		環境保全基金費	1				
		小中学校建設基金費	52				
		教育振興基金費	199				
		ふるさとよしだ寄附金	155,084				
214	予備費事業	予備費	0	<ul style="list-style-type: none"> 災害等の被害や不測の事態に備えるため、財政の均衡を阻害しない範囲内で予備費を措置し、事業内では対応できない緊急性のある不測の事態について、予備費を執行している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、財政の均衡を阻害しない程度の金額で予備費を設け、緊急に解決すべき不測の行政課題に対応する。 	企画課
215	税務総務事業	税務総務費	37,052	<ul style="list-style-type: none"> 各種実態調査の実施により滞納処分を強化し、公正な収納事務を図ることとする。 事務費については、より一層の経費削減を心掛ける。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、税務総務事業を継続し、税務事務の効率化を進める。 	税務課
216	賦課徴収事業	賦課徴収費	45,824	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、納期内の納付の推進に取り組み、口座振替での納付を推進する。 滞納者の各種実態調査(預金、給与、生命保険、年金、関係機関等)を早期に実施し、滞納処分を強化する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各種調査を一層強化し、滞納処分を実施する。 収納率向上を図るため、引き続き、口座振替を推進し、収納の利便性を向上させる。 	税務課

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の取組状況	令和3年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
217	会計年度任用職員対策事業	会計年度任用職員対策事業費	64,081	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険、労働保険実務研修に参加予定。(担当職員) ・令和2年10月6～9日 健康診断(健康診断、総合判定(特定健診)、胸部レントゲン健診)実施予定。 ・協会けんぽによる特定保健指導を実施する。(社会保険加入者の内、該当者のみ) ・会計年度任用職員の福利厚生及び健康づくりを目的として、静岡県社会保険協会に対し施設利用補助券を申込み、健康保険に加入している会計年度任用職員に配布する。 ・平成29年4月1日からの社会保険適用拡大に伴い、社会保険未加入だった会計年度任用職員も社会保険・厚生年金保険を適用させ、今年度も適正に処理をしている。 ・ストレスチェック診断の実施する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、行政運営を効率的かつ円滑に進めるため、必要に応じて会計年度任用職員を任用する。 	総務課
218	人事管理事業	人事管理費	8,360	<ul style="list-style-type: none"> ・採用試験の実施及び再任用等を適切に実施する。 ・増大する業務に対応するため、フルタイムの再任用職員を1人から2人に増員する。 ・年間を通して優秀な人材を確保するため、統一試験以外の試験を実施する。 ・防災も含めた危機管理を統括する危機管理監を任用する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、効率的な行政運営に資するため適正な人事管理を行う必要がある。 	総務課
219	職員福利厚生事業	職員福利厚生費	3,905	<ul style="list-style-type: none"> ・産業医による健康相談の実施(毎月第2火曜日) ・新規採用職員全員を対象とした産業医の健康相談を実施している。 ・令和2年10月6～9日 健康診断(健康診断・総合判定(特定健診)、胸部レントゲン検診、胃部エックス線検査)実施予定。 ・健康診断実施に関する事前周知及び、共済組合補助が適用される人間ドックの案内を行った。 ・健康診断を社会福祉協議会と合同実施し、実施日が4日間となり、受診する職員の分散化と効率化を図る。 ・健康診断時に対象者に対し、風しんの抗体検査を実施し、職員の健康に努める。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公務員法第42条及び労働安全衛生規則に基づき、事業を継続して実施する。 ・事業主によるメンタルヘルス不調の予防を目的とした「ストレスチェック」の実施が平成27年12月から義務化されたため、「ストレスチェック」の実施に伴う静岡州市町村職員共済組合からの助成(一人1,000円)が廃止され、平成28年度から事業主独自の「ストレスチェック」の実施を行っている。メンタルの不調者を出さないためにも、チェック後の研修等、結果を生かす対応に引き続き取り組む必要がある。 	総務課
220	職員研修事業	職員研修事業費	3,712	<ul style="list-style-type: none"> ・例年どおりの階層別研修を実施する。 ・多種多様な来客等への適切な対応を図るため「ハードクレーム研修」を全職員を対象に実施する。 ・引き続き、研修に参加しやすい環境を整備する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・地方分権に伴う自律的な政策形成や組織運営を担うことができる職員の育成を図るため、引き続き職員研修を実施する。 	総務課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野2 高度情報化

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実施状況	令和3年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
221	情報化推進事業	情報化推進費	58,884	・オンライン会議等新型コロナウイルス感染症対策として活用できるICTの導入について検討する。	見直しの上で実施 ・ICTの有効活用による事務の効率化や行政サービスの向上を図るため、行政のデジタル化について、より効果的な事業を実施するための可能性について検討する。 ・マイナンバー制度による情報連携を適切に実施していくため、安全かつ確実にセキュリティの強化を図る。	総務課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野3 情報公開

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実施状況	令和3年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
222	情報公開制度推進事業	情報公開制度推進費	3,044	・引き続き、吉田町情報公開条例及び吉田町個人情報保護条例に基づき、適正に事業を進める。	現状のまま継続 ・吉田町情報公開条例及び吉田町個人情報保護条例に基づき、適正に事業を進める。	総務課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野4 広報・広聴

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実施状況	令和3年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
223	広報・広聴事業	広報・広聴事業費	9,826	・広報よしだやFM島田の「吉田まちかど情報」などによる毎月の情報提供が主となっており、その時々にあった話題や町が進める事業などについてわかりやすい情報提供に努めている。 ・広報よしだを中心にわかりやすい情報発信を行い、住民ニーズに合った内容の提供とマスコミを利用した情報発信に努める。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため町政報告会が中止となったが、広報よしだの配架依頼先を増やすなど情報弱者を発生させないよう努めていく。 ・作る側と見る側の双方が利用しやすいホームページとなるようレイアウト等の見直しを行う。	見直しの上で実施 ・引き続き、わかりやすく見やすい広報紙の作成に心がける。 ・町内のコンビニやスーパー、図書館などの公共施設及び金融機関に配架を依頼し、隣組に属さない町民にも情報が届くように努める。 ・町民への説明責任を果たすとともに、町政に対するニーズを的確に把握し各種施策に反映させるため、引き続き、どこでも訪問しますDAY、町政報告会等の広聴事業を実施する。 ・町民にとって分かりやすい情報をより適切に発信していくため、ホームページ及び情報発信アプリケーションのレイアウト等について検討する。	総務課

第 7 章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野 5 住民参画

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
224	吉田町表彰事業	吉田町表彰費	517	・引き続き、条例等に基づき、まちづくりに大きく貢献した住民を表彰する。 (吉田町表彰授与式:令和2年11月6日(金)開催予定)	現状のまま継続	・町政に対する関心や参画意識を高めるため、引き続き、条例等に基づき、まちづくりに大きく貢献した住民を表彰する。	総務課
225	住民参画推進事業	住民参画推進事業費	3	・NPO法人設立支援として、ふじのくにNPO活動センターと連携し、設立を目指す団体等に各種情報提供等を行う。 ・ふじのくにNPO活動センターが作成する市町村向け活動支援計画を参考に、NPO法人に対する町の関わり方を検討する。 ・県等が主催する説明会に積極的に参加し、そこで得た情報を住民へ向けて発信する。	見直しの上で実施	・住民参画がさらに図られるよう、当町に合った住民参画手法等の検討・導入が必要である。	企画課

第 7 章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野 6 男女共同参画・人権尊重

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実況	令和3年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
226	男女共同参画推進事業	男女共同参画推進費	379	・現在の吉田町男女共同参画プラン(第3次)について、各課における進捗状況の評価や把握を行っている。 ・昨年度に引き続き、推進委員会及び検討委員会を開催し、男女共同参画に関連する事業が適切に実施されているか確認するとともに、プランの改訂に向けた指標や目標値について再検討する。 ・吉田中学校の全生徒を対象に、「男女共同参画」の理解促進に向けた啓発を行っている。	現状のまま継続	・男女共同参画社会の実現に向け、女性の意見を町政により一層反映するための仕組みの構築について検討する。 ・吉田町男女共同参画プラン検討委員会を開催し、引き続きプランの評価及び進捗状況を把握する。 ・事業所等に対する男女共同参画の意識啓発の方法を検討する。	企画課
227	地域福祉推進事業(人権啓発事業)	人権・地域改善費 神戸西会館運営費	360 3,799	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、類似事業(講演会・研修会)の合同開催を検討している。 ・隣保館の役割機能を高めるため、新たな広報活動を展開している。	現状のまま継続	・隣保館(神戸西会館)の役割機能を果たすため、提言に基づき実践的で可能な活動を順次実践していく。	福祉課
228	人権教育事業	人権教育事業費	10	・人権教育は、すぐに理解・納得することは難しい問題である。行政として「人権について考える場を提供し続ける」ことが人権問題に対する正しい理解と認識を深めることにつながるため、様々な人権分野に触れる機会を提供する。	現状のまま継続	・今後も、人権問題に対する正しい理解と解決に向けて、講演会の開催や広報活動等町民の人権意識の向上を図り、加えて担当職員の研修会等への参加を継続することで職員の資質向上を図る。	生涯学習課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野7 ユニバーサルデザイン

No.	実施計画事業名	令和元年度の予算事業		令和2年度の実施状況	令和3年度の方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
229	ユニバーサルデザイン推進事業	ユニバーサルデザイン推進費	0	<ul style="list-style-type: none"> ・県が主催するユニバーサルデザイン実践講座等に積極的に出席し、そこで得た情報を各課や町民に対して発信し、ユニバーサルデザインのさらなる啓発を図る。 ・「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業」を活用し、住吉会館、庁舎、町立吉田中学校、町立住吉小学校のユニバーサルデザイン化・省エネルギー化を実施する。 ・ユニバーサルデザインを推進するための体制整備を検討する。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業」を効果的に活用できるよう、各課と連携を図り、事業を実施する。 ・「誰もが暮らしやすいまち」づくりに向け、庁内でユニバーサルデザインに関する情報を共有し、一体となってユニバーサルデザインを推進する体制を整備する。 	企画課